

滋賀県立大学A-D棟間屋外廊下新設工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺(A1版)
A-00	表紙、図面リスト	
A-01	建築工事特記仕様書(1)	——
A-02	建築工事特記仕様書(2)	——
A-03	附近見取図、配置図、概要書	1/1400、1/2500
A-04	敷地求積図、面積表	1/100、1/2500
A-05	増築配置・平面図、屋根伏図 現状廊下立面図、増築廊下立面図	1/50、1/100、1/200
A-06	構造特記仕様書	——
A-07	ISベース柱脚工法標準図1	——
A-08	ISベース柱脚工法標準図2	——
A-09	基礎伏図、基礎リスト、屋根梁伏図 軸組図、鉄骨部材リスト	1/30、1/50
A-10	架構詳細図、詳細図	1/30
A-11	現状・解体撤去 外構図、仮設計面図 改修外構図	1/200
E-01	現状・解体撤去 電灯設備 平面図 改修 電灯設備 平面図	1/100

滋 賀 県 立 大 学
株式会社 水原建築設計事務所

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Remarks. Contains specifications for rebar (鉄筋), joints (溶接), and concrete (コンクリート).

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Remarks. Contains specifications for steelwork (鉄骨), fireproofing (防火), stone (石), and masonry (屋根).

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Remarks. Contains specifications for stainless steel (ステンレス), aluminum (アルミニウム), and various hardware and materials.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Remarks. Contains specifications for painting (塗装), plumbing (排水), roofing (舗装), and landscaping (植栽).

Table with 2 columns: Item No. and Item Name. Contains drawing and revision notes (訂正事項).

Project information including the name of the construction firm (水原建築設計事務所), project name (滋賀県立大学A棟間屋外廊下新設工事), drawing date, scale, and sheet number (A-02).

■ 付近見取図



改修工事場所

工事場所：滋賀県彦根市八坂町2500

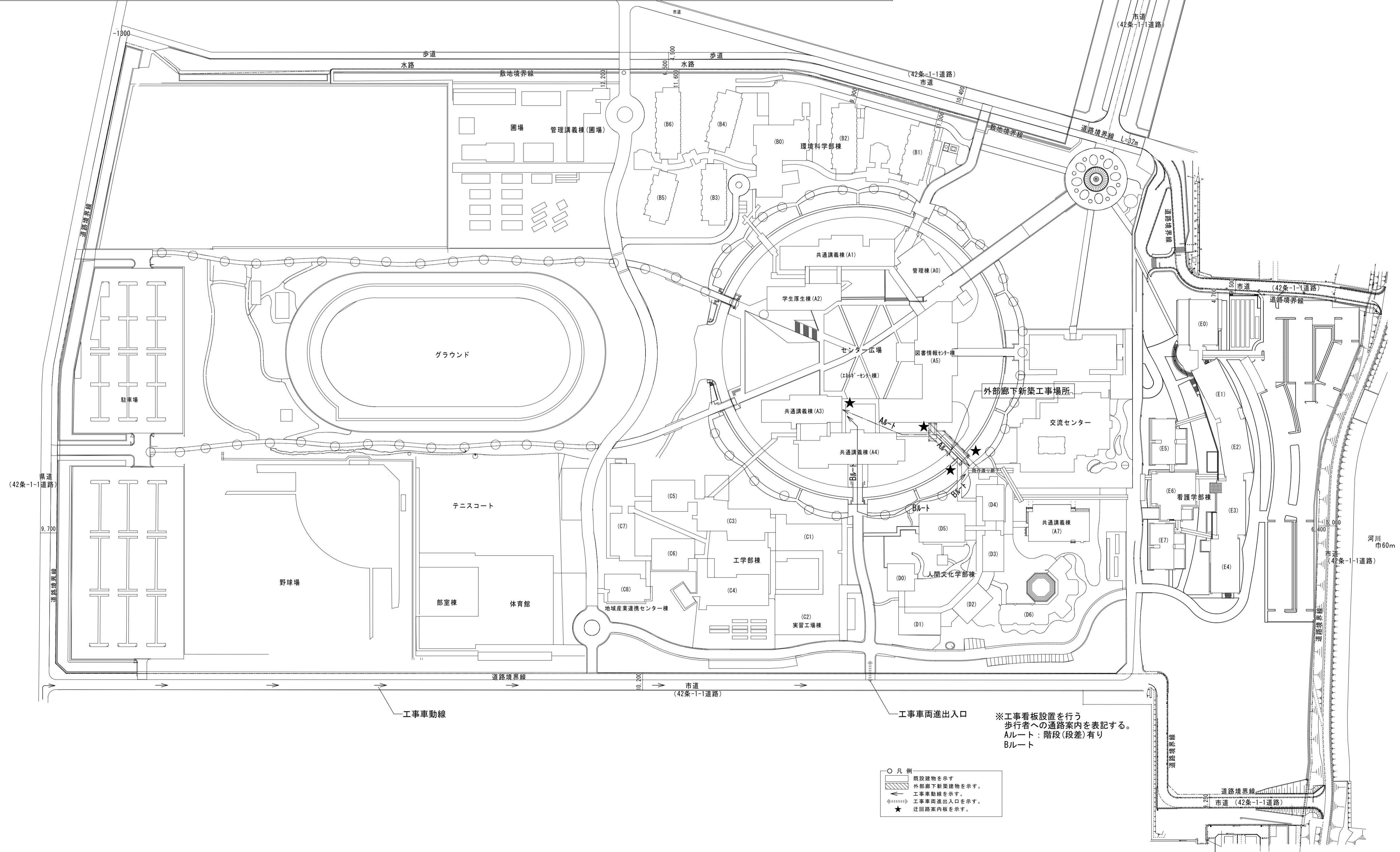
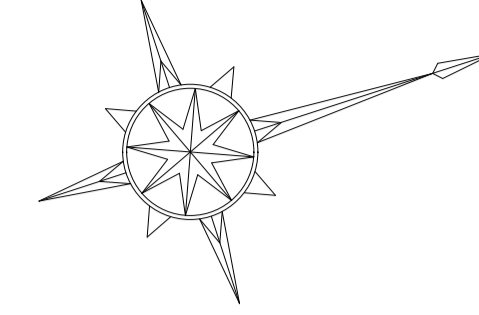
■ 配置図 S=1/1400

■ 工事概要

- ・A-D棟間の屋外廊下新設工事を行う。

■ 特記事項

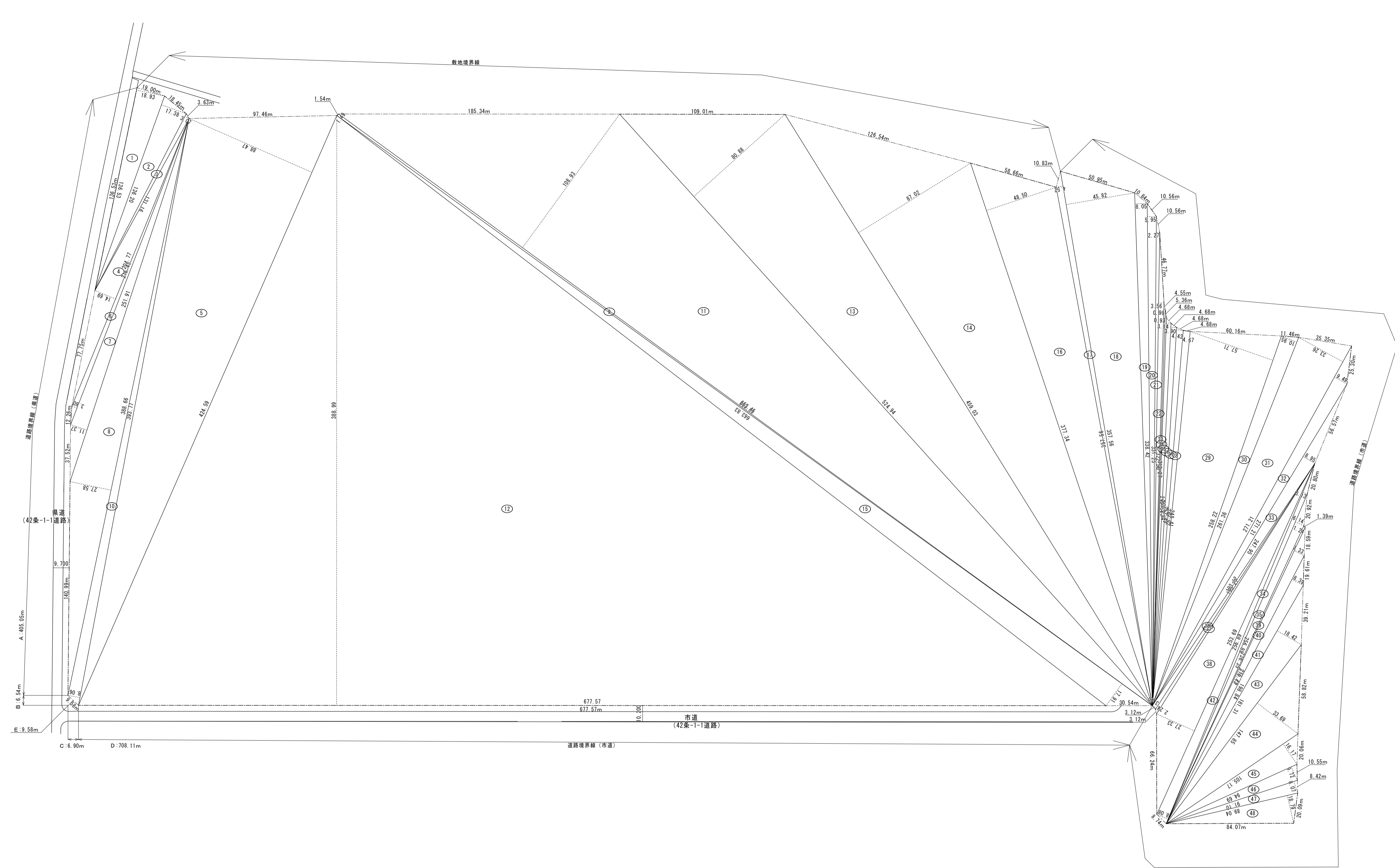
- ・本工事は建物を使用しながらの工事のため、実施工程及び仮設計画の作成にあたり、大学行事を十分に把握し、運営に支障をきたさないよう大学関係者と十分に協議を行うこと。
- ・工事工程表、仮設計画については、参考工程表や配置図に示した内容を参考に、施工者の責任において計画案を立案し、関係者との協議を十分に行い、監督職員の承諾を得ること。
- ・配置図に示す位置に、迂回ルート案内版（4箇所）や工事看板を設置し歩行者の安全を確保すること。
- ・工事着手前に監督職員、施設管理者と工法、安全対策、作業時間等十分協議した上で着手すること。騒音、振動を伴う作業は原則土曜日又は日曜日とする。
- ・工事作業可能日は、原則月曜～土曜とし、作業可能時間は午前9時00分から午後5時30分までとする。
- ・大型車両が搬入する場合は、事前に大学関係者の承認を得ると共に、交通誘導員を適切に配置すること。
- ・工事の施工範囲、施工方法について、施設管理者に十分説明を行うこと。特に、騒音、粉塵の低減については十分配慮した工法とすること。
- ・工事の資材搬入通路は、必要に応じて敷き鉄板等で養生を行い、利用後は毎日清掃を行うこと。
- ・既設取り合い部においては、既設建物寸法など図示あるも、事前調査を十分に行い、納まりなど監督職員との協議の上施工を行うこと。
- ・本工事に伴い、既設配管・既設設備機器など十分配慮し、損傷を与えないよう注意すること。なお損傷を与えた場合は、施工者の責任において速やかに現状復旧すること。
- ・学生や施設関係者の安全を確保した足場設置を行うこと。足場設置にあたり、資機材等の落下防止措置を講ずること。



※工事看板設置を行う歩行者への通路案内を表記する。
Aルート：階段（段差）有り
Bルート

- 凡例
- 既設建物を示す
 - 外部廊下新築建築物を示す
 - 工事車動線を示す
 - 工事車両進出入口を示す
 - 迂回案内版を示す

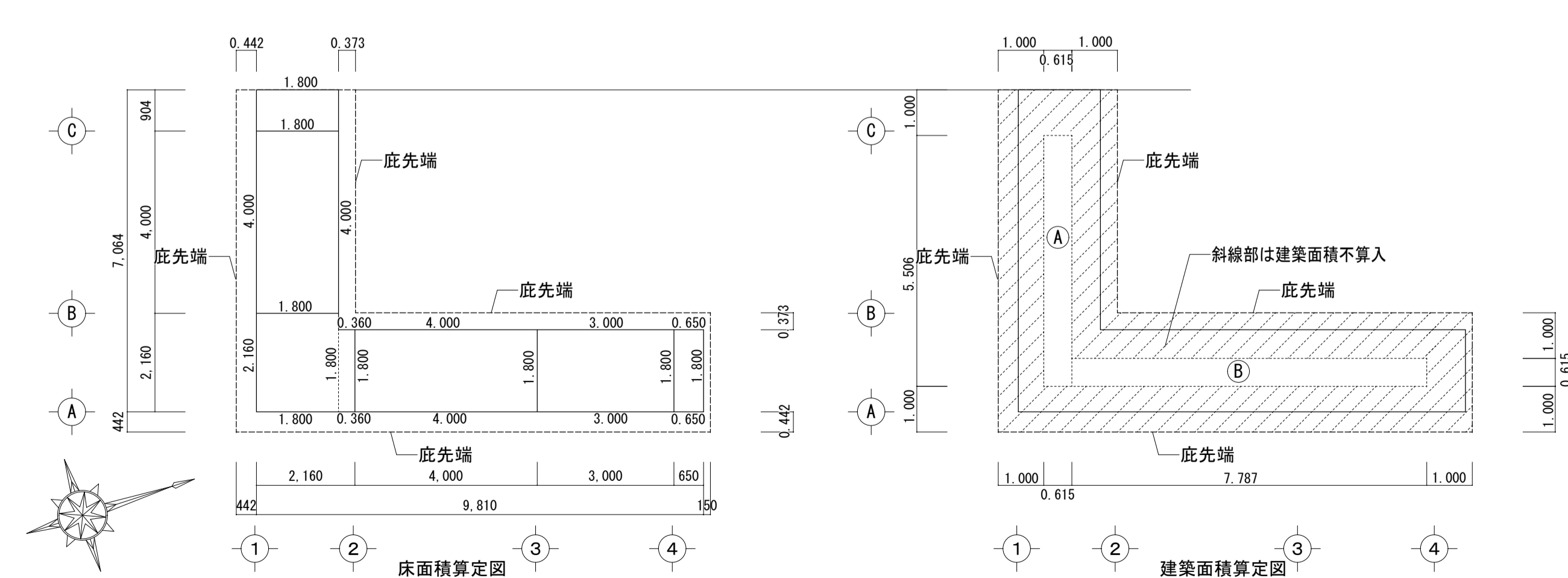
■ 敷地求積図 S=1/1500



番号	底辺	高さ	側面積	面積
1	136.53	18.93	2,584.5129	1,292.25645
2	136.20	17.38	2,367.1560	1,183.57800
3	131.16	3.07	402.6612	201.33060
4	204.77	14.69	3,008.0713	1,504.03565
5	424.59	88.47	37,563.4773	18,781.73865
6	216.45	3.60	779.2200	389.61000
7	251.91	11.37	2,864.2167	1,432.10835
8	388.66	27.58	10,719.2428	5,359.62140
9	663.83	1.49	989.1067	494.55335
10	393.77	8.06	3,173.7862	1,586.89310
11	663.46	108.93	72,270.6978	36,135.34890
12	677.57	388.99	263,567.9543	131,783.97715
13	524.94	80.88	42,457.1472	21,228.57360
14	459.03	87.02	39,944.7906	19,972.39530
15	663.83	17.91	11,889.1953	5,944.59765
16	377.34	48.50	18,300.9900	9,150.49500
17	357.56	4.52	1,616.1712	808.08560
18	357.56	45.82	16,383.3992	8,191.69960
19	338.42	8.05	2,724.2810	1,362.14050
20	331.25	5.95	1,970.9275	985.46875
21	322.58	2.27	732.2566	366.12830
22	312.27	3.56	1,111.6812	555.84060
23	265.66	0.99	263.0034	131.50170
24	261.22	0.93	242.9346	121.46730
25	255.94	3.14	803.6516	401.82580
26	252.49	3.90	984.7110	492.35550
27	249.92	4.42	1,104.6464	552.32320
28	248.41	4.67	1,160.0747	580.03735
29	258.22	57.71	14,901.8762	7,450.93810
30	261.36	10.95	2,861.8920	1,430.94600
31	271.21	33.26	9,020.4446	4,510.22230
32	271.21	9.49	2,573.7829	1,286.89145
33	247.95	8.95	2,219.1525	1,109.57625
34	256.89	3.13	804.0657	402.03285
35	236.35	6.14	1,451.1890	725.59450
36	193.12	3.00	579.3600	289.68000
37	195.27	2.24	437.4048	218.70240
38	253.69	27.33	6,933.3477	3,466.67385
39	216.43	1.24	268.3732	134.18660
40	215.79	7.33	1,581.7407	790.87035
41	198.84	8.39	1,668.2676	834.13380
42	256.89	8.08	2,075.6712	1,037.83560
43	181.31	18.42	3,339.7302	1,669.86510
44	147.85	33.69	4,981.0665	2,490.53325
45	105.17	16.17	1,700.5989	850.29945
46	94.69	9.72	920.3868	460.19340
47	91.10	8.07	735.1770	367.58850
48	89.04	18.79	1,673.0616	836.53080
合計				301,353.28190
敷地面積				301,353.28 m ²

番号	距離
1	19.00
2	18.45
3	3.63
5	97.46
9	1.54
11	185.34
13	109.01
14	126.54
16	58.66
17	10.83
18	50.95
19	10.84
20	10.56
21	10.56
22	46.77
23	4.55
24	5.36
25	4.68
26	4.68
27	4.68
28	4.68
29	60.16
30	11.46
31	35.35
32	25.30
33	56.57
34	20.80
35	20.92
39	1.39
40	18.59
41	19.61
43	39.21
44	58.82
45	20.06
46	10.55
47	8.42
48	20.09
48	84.07
42	8.74
38	66.24
37	3.12
36	3.12
15	30.54
12	677.57
10	9.58
8	140.99
7	37.52
6	12.26
4	77.75
1	136.53
敷地周長 (m)	2,504.10

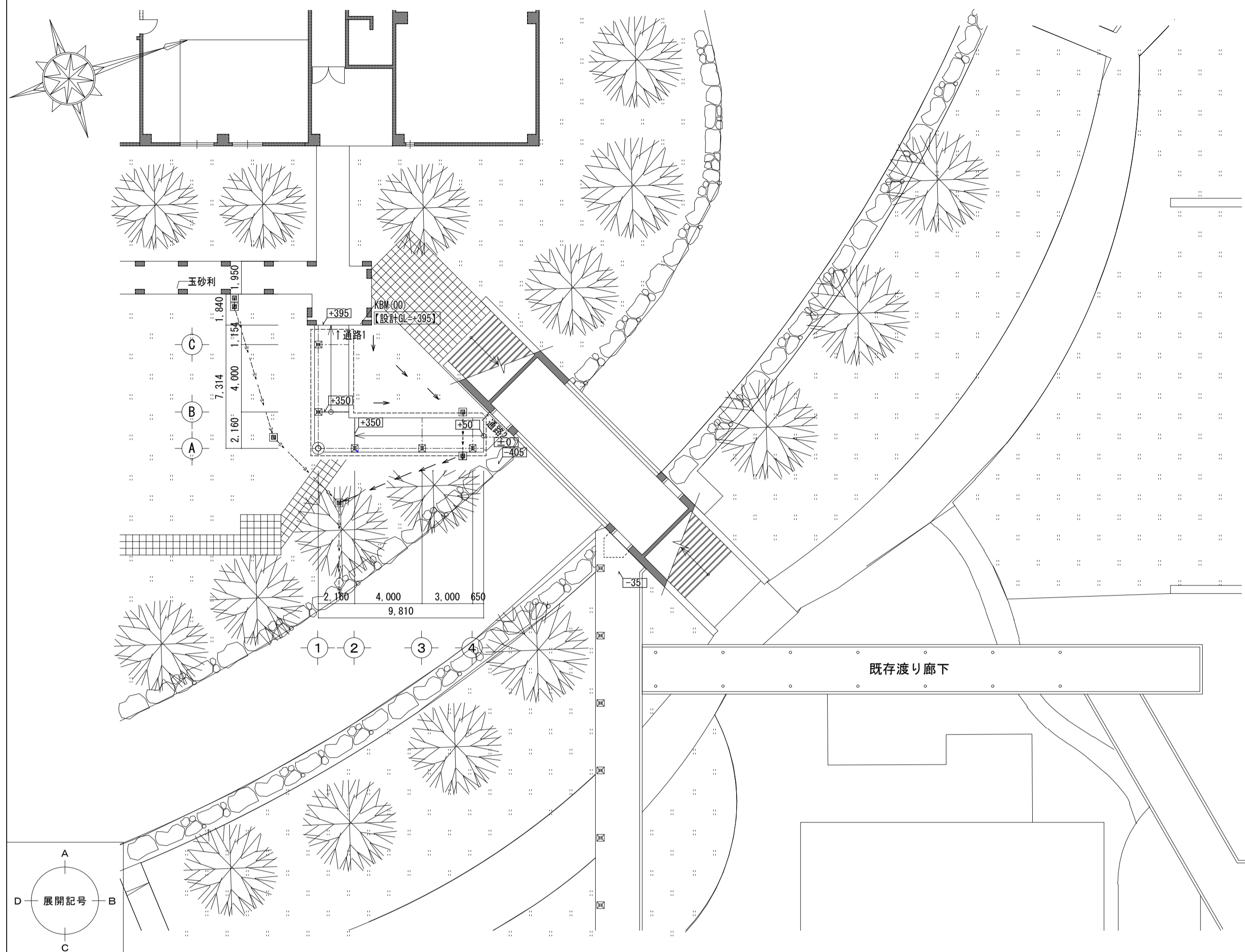
■ 面積表 S=1/100



□床面積算定表	
外気に有効に開放されている部分の高さが、1.1m以上あり、かつ、天井高さの1/2以上である廊下については	
幅2mまでの部分を床面積に参入しない。	
開放廊下の条件に該当する為、床面積 0.0m ²	0.00m ²
□建築面積算定表	
①: 0.615 × 5.506 = 3.38619 ②: 7.787 × 0.615 = 4.789005	
建築面積計 (①+②) = 8.175195	8.18m ²

● 斜線の部 (すみ切等がある場合)
 接道長さ A: 405.05m + B: 6.54 ≧ 2m
 接道長さ C: 6.90m + D: 708.11 ≧ 2m
 かつ、A: 405.05m + E: 9.58m + D: 708.11m
 ≧ 1/3 L: 敷地面積 2,504.10 (834.70m)
 第一種中高層住居専用地域 (60%) + 10% = 70%

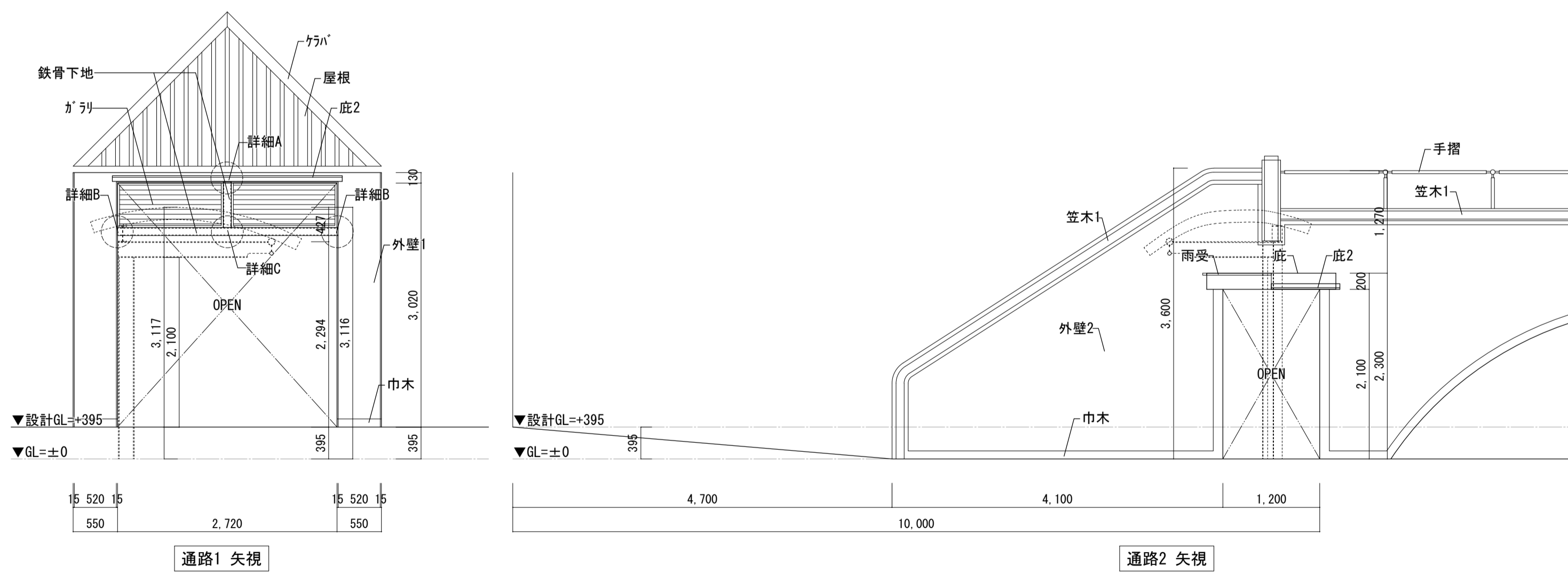
■ 増築外部廊下 配置図 S=1/200



○ 増築配置凡例

	新設建物を示す。		図中の数字はKBM=±0からの現状外構仕上高さを示す。 (KBM=既設外部廊下天端、設計GL=KBM-395)
	既設建物を示す。		雨水排水経路を示す。

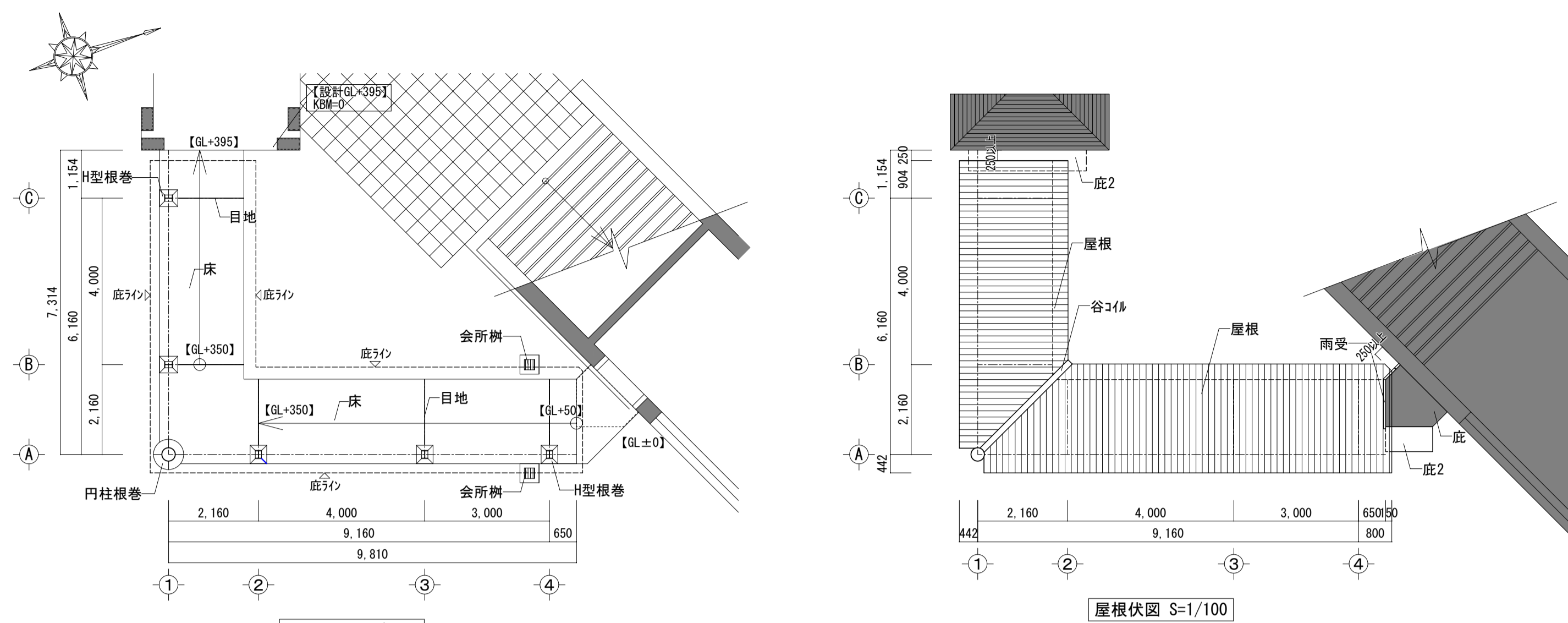
■ 増築外部廊下 取合い立面図 S=1/50



○ 既設廊下 立面図凡例

屋根	カラガ M ² リム鋼板 瓦棒葺き【現状のまま】	笠木1	花崗岩 ^ハ -ナ仕上【現状のまま】	手摺	スチール製手摺【現状のまま】
カラガ	カラガ M ² リム鋼板 加工【現状のまま】	庇	コンクリート庇【現状のまま】	巾木	コンクリート巾木【現状のまま】
外壁1	モルタル下地調整の上 吹付 ^タ M ² 塗装仕上【現状のまま】	庇2	7 ^ワ 製庇(既製品)【新設】	ガラリ	7 ^ワ 製ガラリ【新設】
外壁2	コンクリート 研り仕上【現状のまま】	雨受	ステンレス製 C型鋼 50×25×3【新設】	鉄骨下地	H-100×100×6×8 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ【新設】

■ 増築外部廊下 平面図、屋根伏図 S=1/100



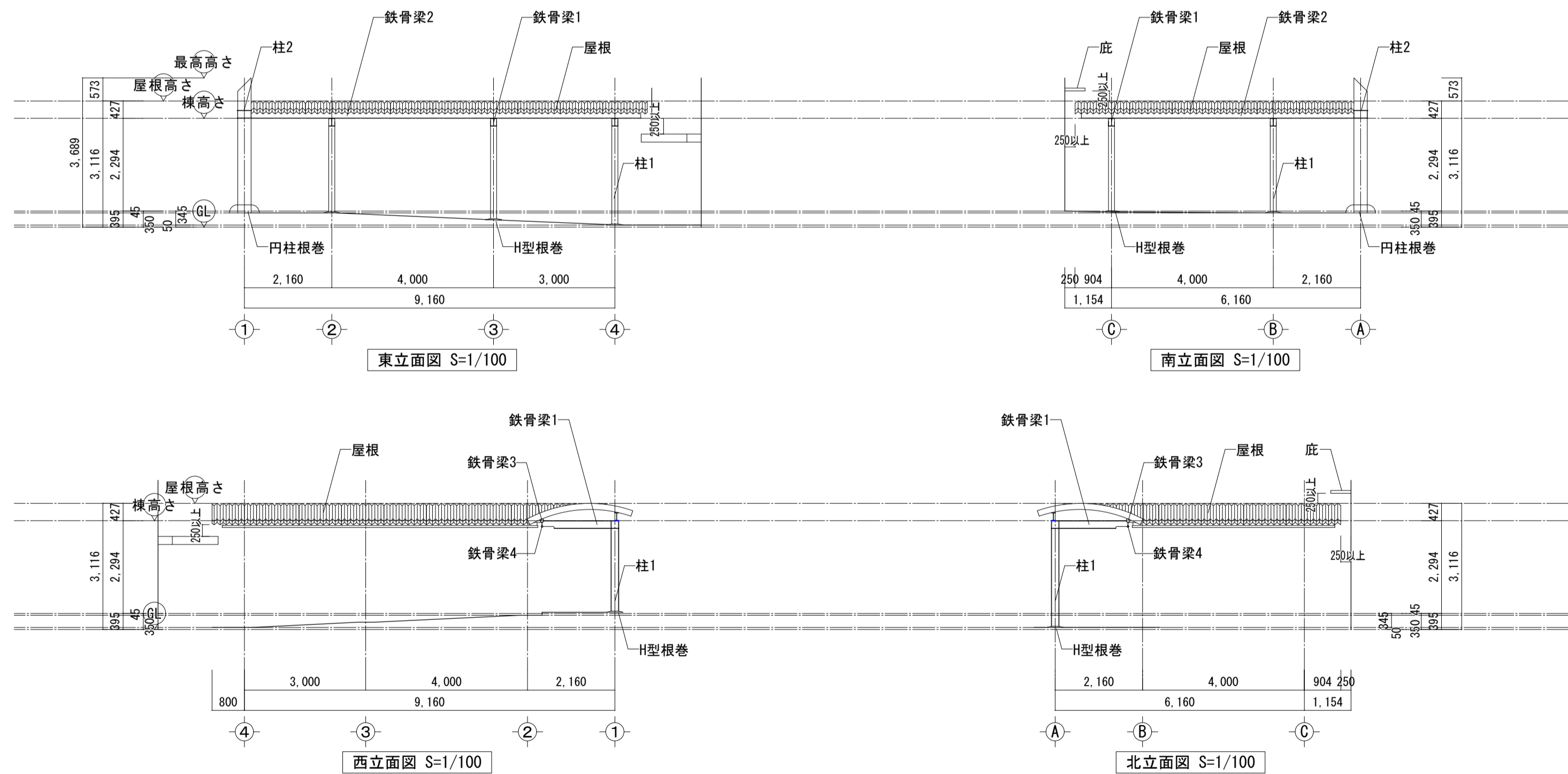
○ 増築廊下 平面図凡例

○ 鉄骨柱を示す。	円柱根巻 花崗岩 ^ハ -ナ仕上
床	天然石 ^ル 樹脂系床仕上げ 厚10
目地	ステンレス製 FB-9×15
H型根巻	花崗岩 ^ハ -ナ仕上 厚50(四方向 ^テ - ^ハ -)

○ 増築廊下 屋根伏図凡例

屋根	鉄骨下地+カラガ ^ハ - ^ハ イ ^イ (SCP 2R t=2.7 9 ^レ ツ ^レ ツ ^レ ツ ^レ) 葺きの上 ^リ 屋根用遮熱塗料塗
谷コト	谷コト 厚1.3加工 + 受材PL-4加工
庇	コンクリート庇【現状のまま】
庇2	7 ^ワ 製庇(既製品)
雨受	ステンレス製 C型鋼 50×25×3

■ 増築外部廊下 立面図 S=1/100



○ 増築廊下 立面図凡例

柱1	H-194×150×6×9 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ	鉄骨梁3	○-89.1×3.2 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ
柱2	スチール製 ^ハ イ ^イ φ319 錆止め塗装の上 ^リ 耐候性塗料塗仕上げ	鉄骨梁4	○-48.6×3.2 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ
屋根	鉄骨下地+カラガ ^ハ - ^ハ イ ^イ (SCP 2R t=2.7 9 ^レ ツ ^レ ツ ^レ ツ ^レ) 葺きの上 ^リ 屋根用遮熱塗料塗	H型根巻	花崗岩 ^ハ -ナ仕上 厚50(四方向 ^テ - ^ハ -)
鉄骨梁1	H-194×150×6×9 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ	円柱根巻	花崗岩 ^ハ -ナ仕上
鉄骨梁2	H-198×99×4.5×7 溶融亜鉛メッキの上 ^リ 酸亜鉛処理仕上げ		

※特記無き限り
鉄部：溶融亜鉛メッキの上^リ酸亜鉛処理仕上げ

構造概要書

一般事項

1. 建物概要

Table with 4 columns: 工事名称, 建築地, 規模, 建築用途, 建築面積, 軒高, 工事種別, 増築予定

2. 構造種別(部位別)・仕様

Table with 2 columns: 部位, 構造種別・仕様

構造設計条件

1. 架構計画

Table with 4 columns: X方向, Y方向, 構造種別, 耐力壁の有無

2. 計算ルート

Table with 2 columns: X方向, Y方向, ルート

3. 風圧力

Table with 5 columns: 地表面粗度区分, 基準風速, 風荷重算定用建物基準高さ, 風荷重の低減・割増, 速度圧 q

4. 積雪荷重

Table with 4 columns: 積雪量, 単位重量, 設計荷重, 長期/短期

5. 積載荷重

Table with 5 columns: 場所, スラブ, 小梁, 梁・柱, 地震

6. 特殊荷重

Table with 4 columns: クーリングタワー, 高架水槽, エレベーター, 単位重量, 受水槽, アンテナ, 避雷針

7. 地耐力

Table with 5 columns: 場所, 基礎形式, 基礎深さ, 長期地耐力, 備考

S1 単位換算値 1N=1/9.807kgf

特記仕様書

1. 共通事項

- ・使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
・設計図書の特記仕様書
1) 特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 日本建築家協会共通仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書 JASS5 (2009)・JASS6

2. 地業工事

Table with 2 columns: 杭仕様, 杭仕様

3. 鉄筋コンクリート工事

Table with 2 columns: 1. コンクリート, 2. 鉄筋

※単位水量 185kg/㎥以下の場合はAE減水剤としてよい。
※コンクリート品質基準強度 Fq=max (Fc, Fd)
Fc: 設計基準強度 Fd: 耐久設計基準強度
※コンクリート調合管理強度 Fm=Fq+S
標準値 28 S1=3N/mm^2 (θ≧8) 暑中期間においては6N/mmとする
標準値 28 S1=6N/mm^2 (0≦θ<8)
θ: コンクリートの打込みから28日までの期間の予想平均気温(℃)
※ガス圧接は、優良圧接会社を使用する。
※ガス圧接工事は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接継手工事(2009年版)」による。

Table with 4 columns: 4. 型枠, 区分, 建築物の部分, セメントの種類, 設置日数, コンクリートの圧縮強度

4. 鉄骨工事

Table with 2 columns: 1. 鋼材, 2. ボルト類, 3. 接合, 4. 錆止め塗装

その他、施工上特に注意すべき事項

試験・検査

1. 試験

Table with 6 columns: 工事種別, 項目, 試験報告, 試験項目, 試験方法等, 試験及び試験回数, 合否判定基準

●: 公的試験所

2. 検査

Table with 4 columns: 工事種別, 検査報告, 検査項目, 検査項目

3. その他 提出書類

Table with 2 columns: 提出書類, 書類名

ISベース柱脚工法設計・施工標準図

(CH:円型鋼管用 非保有力接合タイプ)

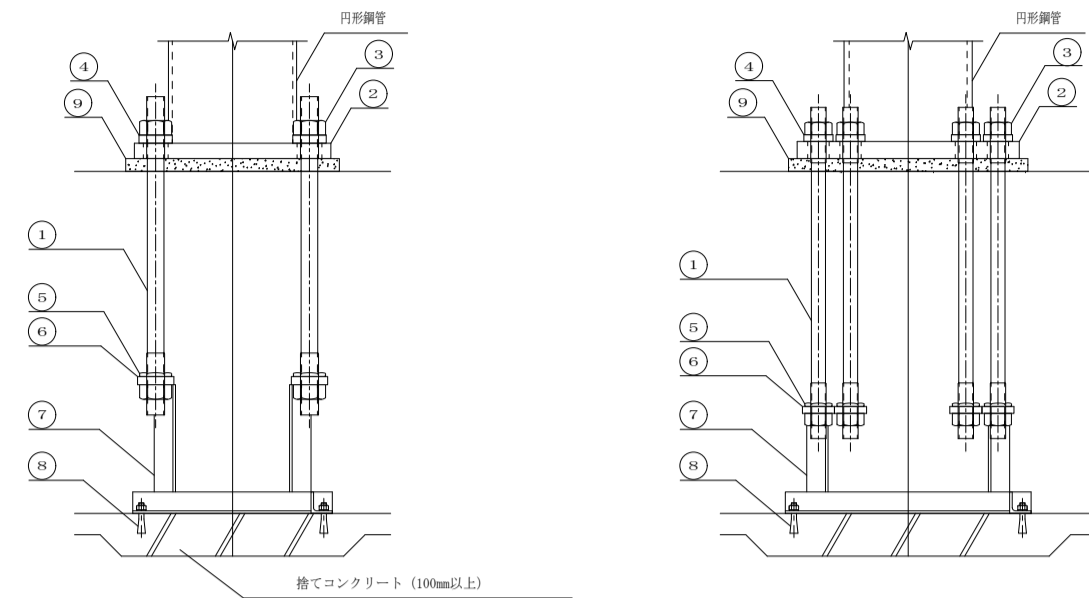
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定-ST0282-02 (2022年12月16日)

国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット)		※ () はメーカー加工工場を示す。	
MBLT-0116	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0180	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0144	M30~M48 (JFE高鋼・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0181	M30~M48 (JFEスチール・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0164	M52~M76 (JFE高鋼・アイエスケ-前橋工場)		

適用柱材 (F値=235N/mm ² , 325N/mm ²)
φ 165.2 ~ φ 914.4

アイエスケ株式会社
 (大阪本社) TEL 06-6449-0881
 FAX 06-6449-0877
 (東京支店) TEL 03-3433-0844
 FAX 03-3433-0847

1. 構造概要



- ① アンカーボルト
- ② ベースプレート
- ③ 一種ナット (シングルナット)
- ④ 丸用金
- ⑤ 六角リング
- ⑥ 定着板
- ⑦ セットフレーム
- ⑧ セットアンカー
- ⑨ モルタル (30~50mm)

3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト
 材料: 大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)

3-2. ナット
 種類: 1種六角ナット JIS B 181
 強度区分: JIS B 1052 8 (M48以下)
 強度区分: JIS B 1052 10 (M52以上)

3-3. 丸用金
 材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400

品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A22	M30	3.5	28.0	-	-	685	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	-	675	130
A32						725	
A33						775	
A34						825	
A35						925	
A42	M42	4.5	38.92	38.8	-	845	145
A43						945	
A44						1045	
A51						965	
A52	M48	5.0	45.0	-	-	1015	160
A53						1115	
A61						M52	
A71	M56	5.5	-	-	52.0	195	
A81	M60	5.8	-	-	56.0	205	
A91	M64	6.0	-	-	60.0	215	
AA1	M68	6.0	-	-	64.0	225	
AB1	M72	6.0	-	-	67.8	235	
AC1	M76	6.0	-	-	71.8	245	

3-4. 定着板
 材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
 溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)

3-5. 六角リング
 材質: JIS G3131 SPHC

呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	40	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

呼び径	S	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

2. ベースプレート

2-1. 材質
 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合のみ使用)
 建築構造用認定鋼板 TW325B (板厚の制限なしで使用)

2-2. 形状と寸法
 4-φ中孔
 8-φ中孔
 ※ベースプレートは "中心マーク"のある面が上面 (鋼管側面) "角栓穴"のある面が下面 (床面)

2-3. 柱材との溶接
 柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。
 ※溶接施工に関しては、「日本建築学会; 建築工事標準仕様書 JASS 6(鉄骨工事)」に準ずる。
 ※柱材のめりつき仕様については、柱材をめりつきする場合は、弊社までご相談ください。

4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料
 コンクリート: $F_c=21N/mm^2$ 以上 (鋼管サイズφ558.8以下)
 $F_c=24N/mm^2$ 以上 (鋼管サイズφ600以上)
 鉄筋: JIS G 3112 SD295A (D16以下)
 JIS G 3112 SD345 (D19~D25)
 JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋
 ・主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
 ・トップアップは、シングルを標準とする。
 ・Lは、使用する主筋呼び径の10倍以上とする。
 ・主筋、巻筋の径・本数は、標準仕様の場合を示す。
 ・柱形の幅 (bc) を標準仕様より上げた場合、検討が必要。
 ・柱形を歪める場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

4-3. 基礎立上り部
 ・柱形の配筋が標準の場合、基礎立上り高さ (Hs) は、250mm以下とする。
 ・立上り高さ (Hs) が250mmを超える場合は、検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※ () は、元請施工範囲を示す。
 6. [コンクリート打設前検査]は、契約内容による。

- 施工打合せ
- (捨てコンクリートの打設) →捨てコン厚さは100mm以上とする。
- (墨出し) →柱芯を明示する。
- アンカーボルト据付
- (配筋・型枠)
 ガージブレードを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
 アンカーボルト、セットフレーム等を鉄筋を拘束しない。
 アンカーボルトに熱を加えない。
- [コンクリート打設前検査]
- (コンクリート打設)
- (鉄骨建方・アンカーボルトの本橋)
 まじゅう高さは (30~50mm) とする。
 まじゅうに使用する材料に規定はない。
 まじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
- ベースモルタルの打てん-ISグラウト以外は使用不可。
- 柱芯の検み確認
- (完成型枠脱型・覆板)

6. 施工管理

- ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの打てん) は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外材料を使用した場合、ISベースの性能を確保できない場合がある。
- アンカーボルトセットは大臣認定材料である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

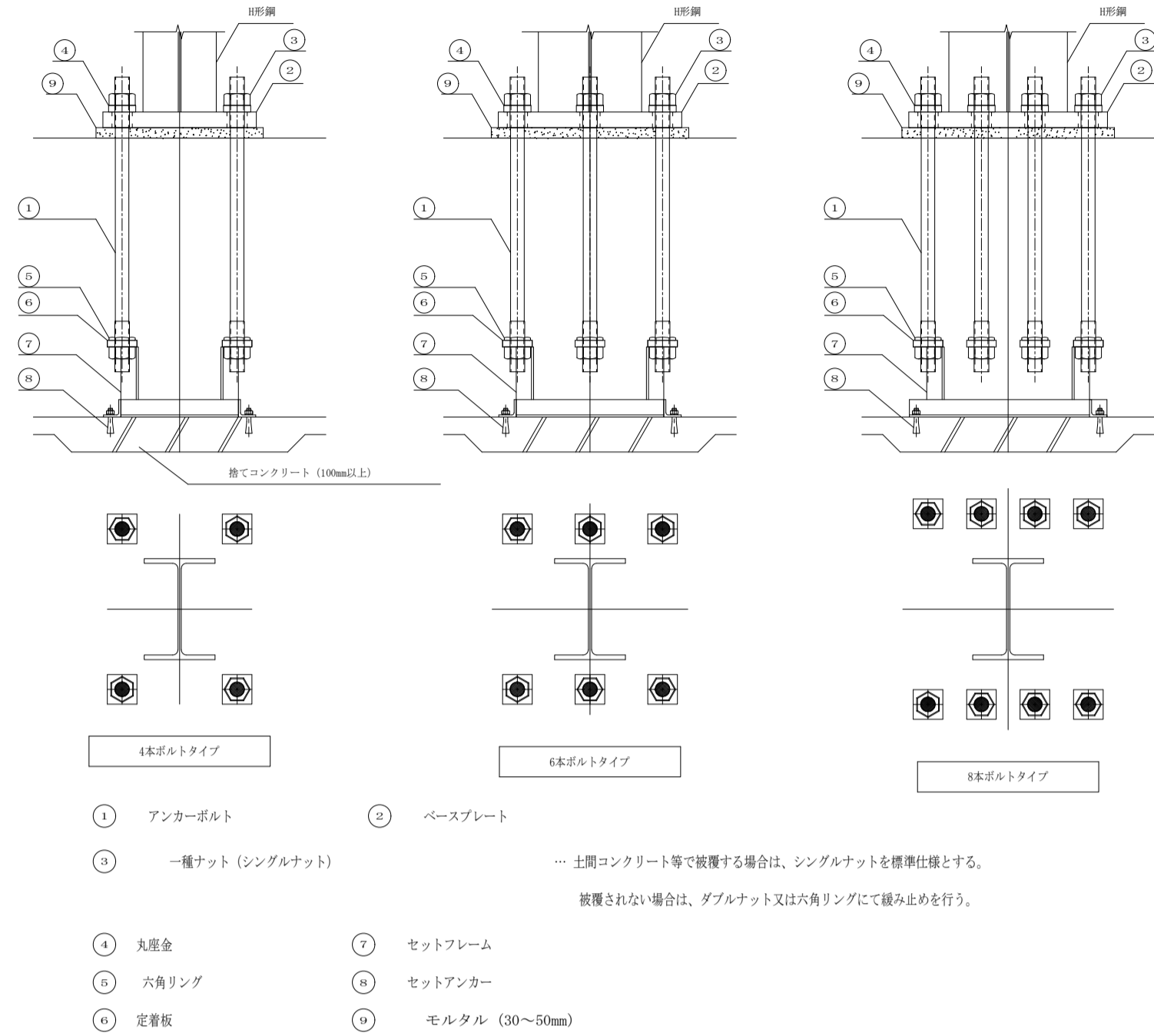
採用	柱脚記号	鋼管サイズ (mm)	適用柱サイズ (mm)		ベースプレート					アンカーボルト		コンクリート柱形 (標準)				最低寸法 (mm)		
			柱材の基準強度 (N/mm ²) [*]	325	D (mm)	C1 (mm)	C2 (mm)	dφ (mm)	t (mm)	本数・呼び径 (品番)	Lu (mm)	La (mm)	bc (最小~最大) (mm)	主筋	巻筋		Lx (mm)	コンクリート強度 (N/mm ²)
●	CH311	φ300	9 ≤ t ≤ 25 (6.9 ≤ t ≤ 25)	9 ≤ t ≤ 19 (6 ≤ t ≤ 16)	400	310	-	φ42	36	4-M30 (A22)	135	480	620~750	16-D19	D13@150	190	21以上	650以上
	CH312	(φ318.5)	12 ≤ t ≤ 25 (9.5 ≤ t ≤ 25)	9 ≤ t ≤ 25 (7.9 ≤ t ≤ 22)	420	320	-	φ50	36	4-M36 (A33)	155	540	640~750	16-D19	D13@150	190	21以上	700以上

※ () 付鋼管サイズの適用柱サイズは、() 内厚みを使用する。

Table with 4 columns: 国土地理院認定番号 (Anchor Bolt Set), 呼称, 鋼種, 鋼種・鋼種・アイエスケー前橋工場. Rows include MBLT-0116, MBLT-0144, MBLT-0164, MBLT-0180, MBLT-0181, M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケー中島工場), M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場), M52~M76 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場).

Table with 2 columns: 通用柱材, F値=235N/mm². Date: 2023年11月作成.

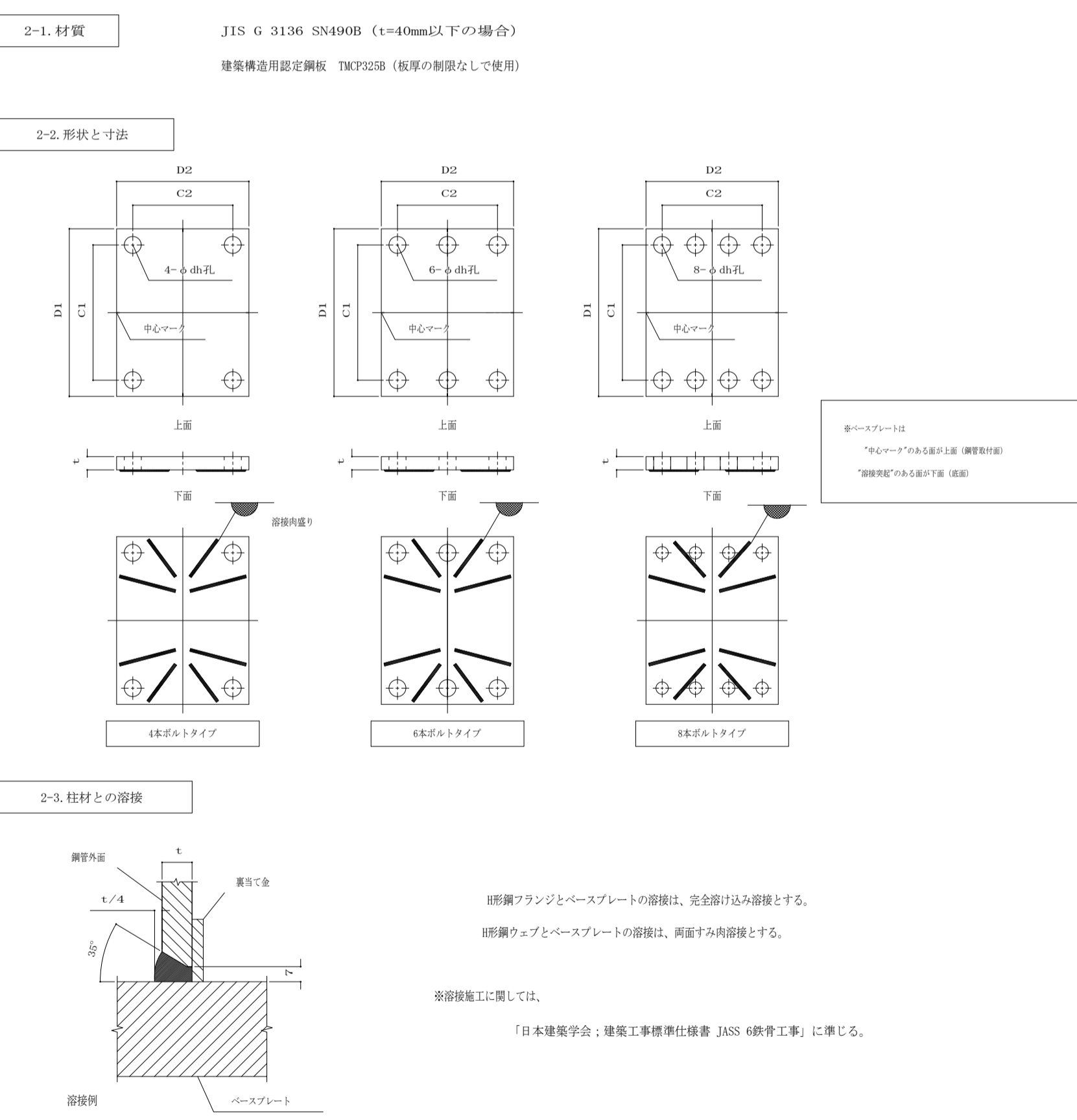
1. 構造概要



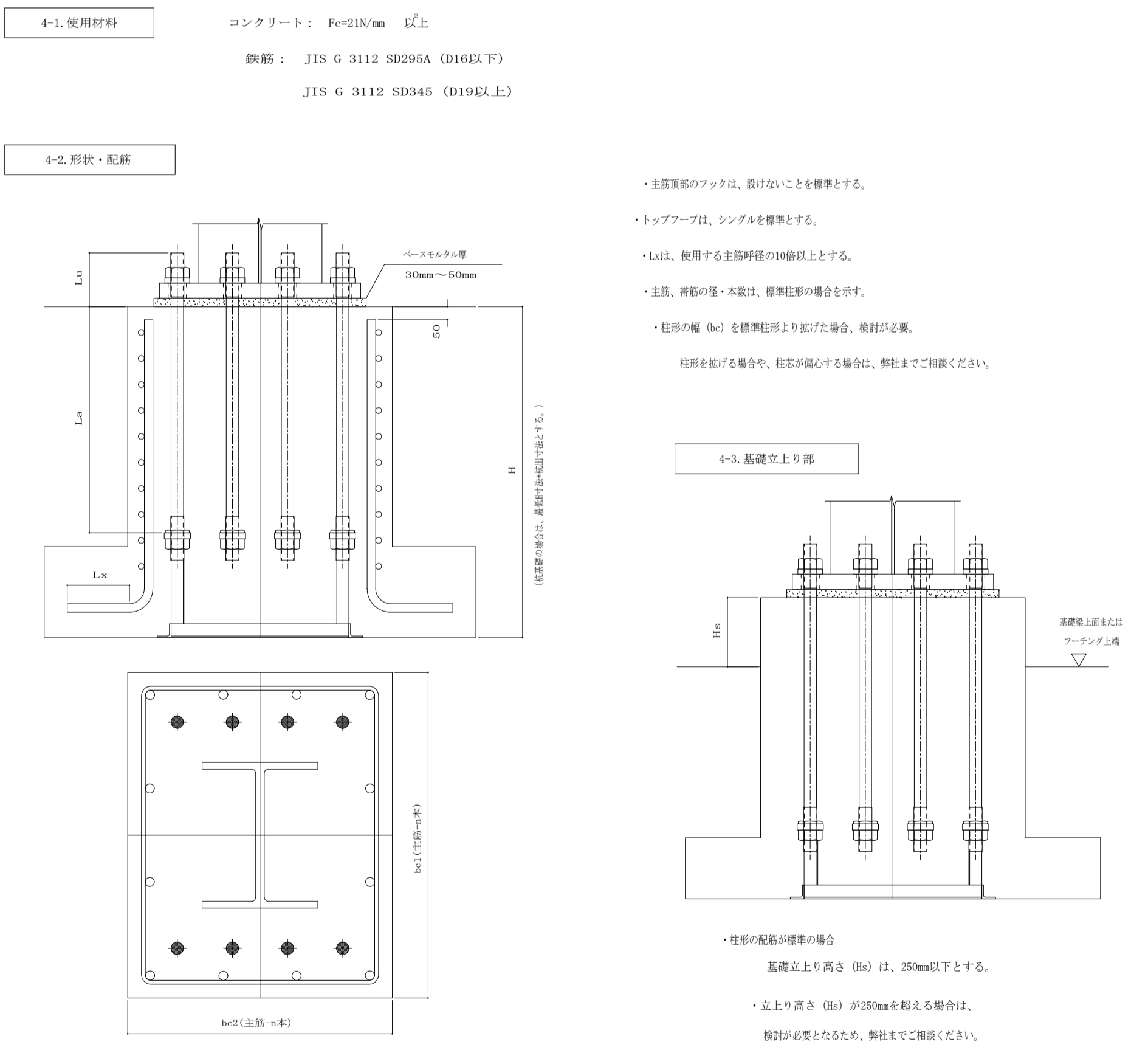
3. アンカー用ボルトセット

Technical specifications for anchor bolt sets. Includes material requirements (ISB740C, ISB740E), dimensions (L, Ls, Lc), and tables for bolt specifications (呼び径, 品種, 寸法) and nut specifications (呼び径, 品種, 寸法).

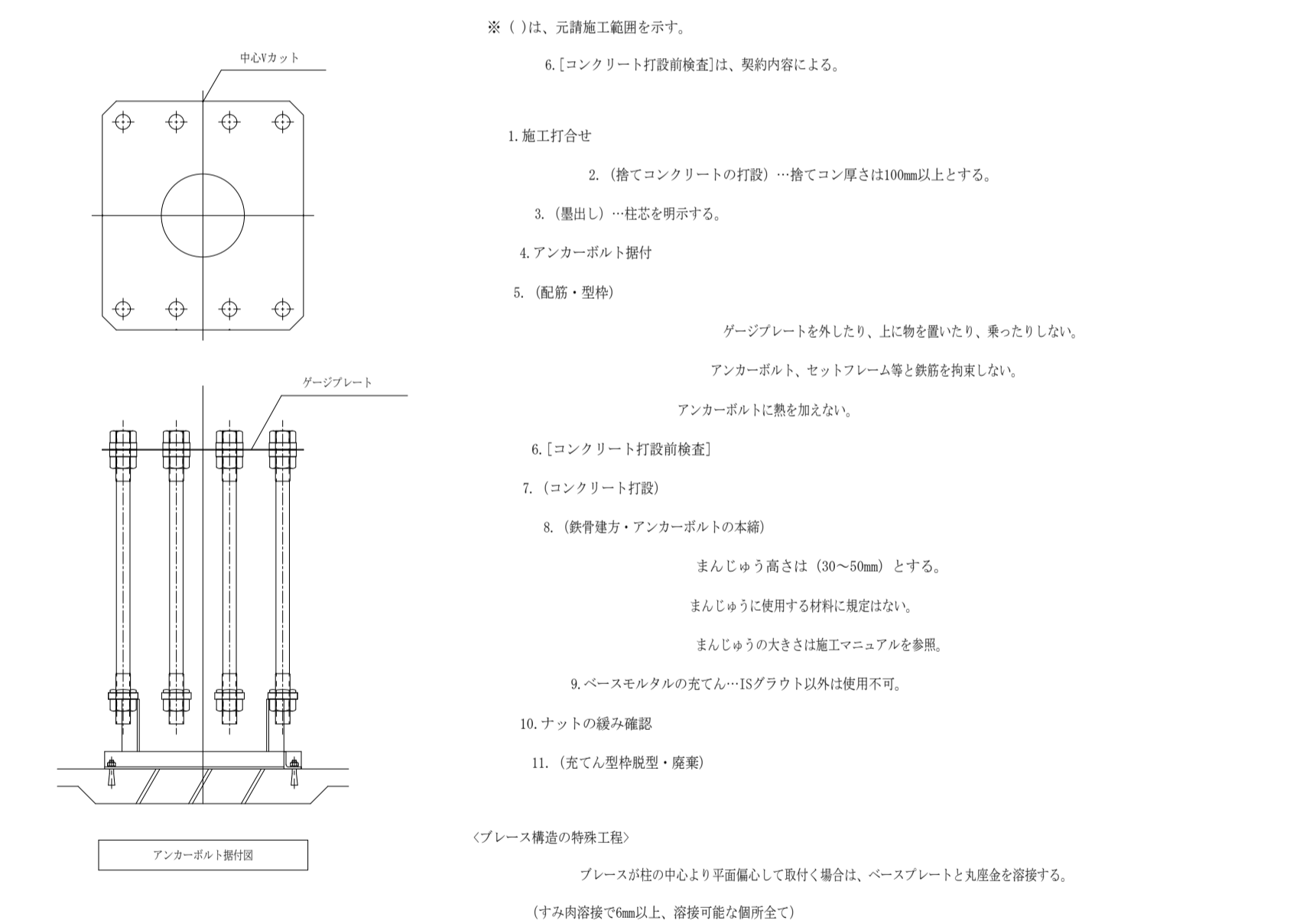
2. ベースプレート



4. コンクリート柱形



5. 施工

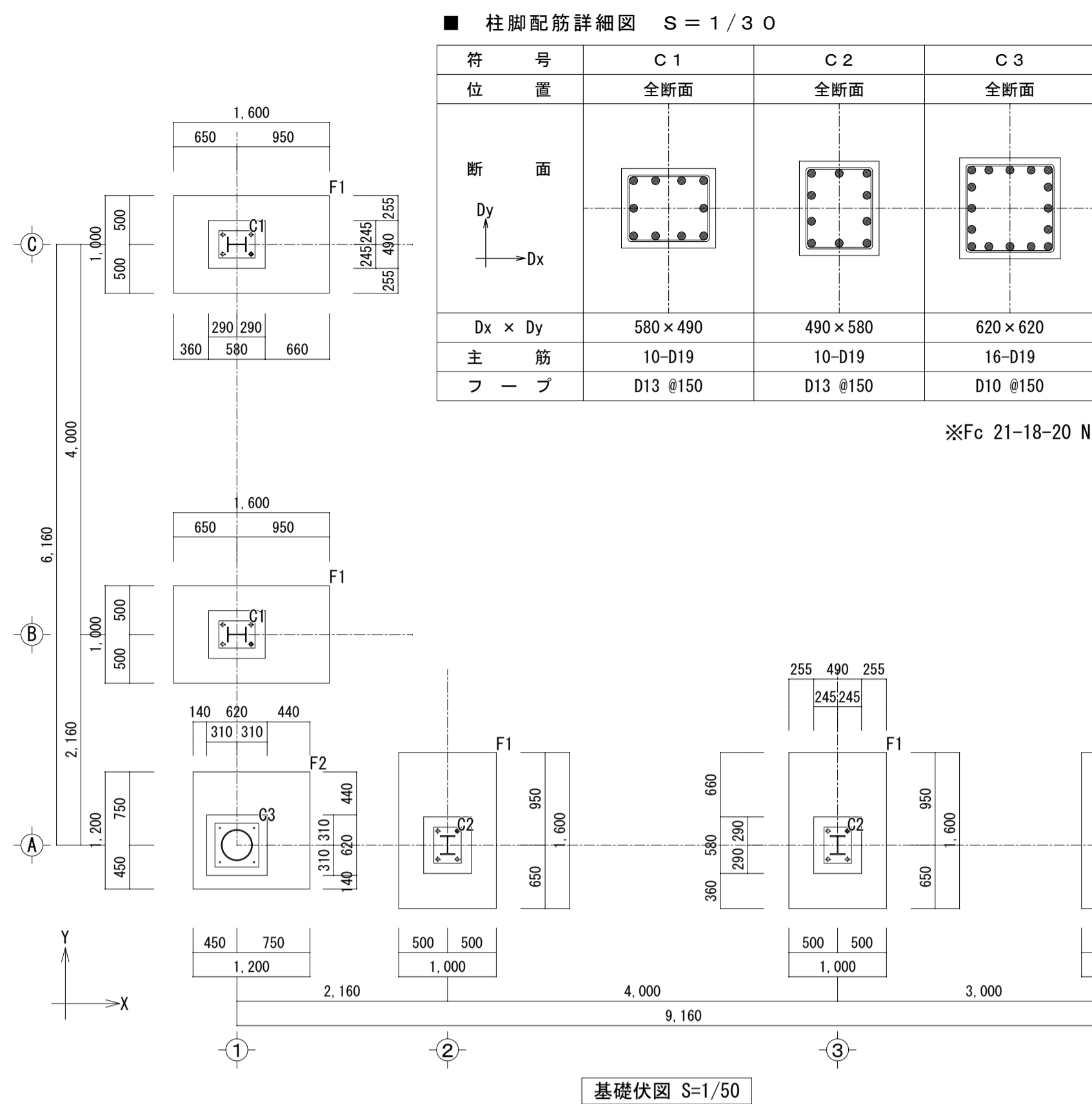


6. 施工管理

ISベースの施工 (アンカーボルトの取付及びベースモルタルの充填) は、弊社が認定した施工者が行う。施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保證できない場合がある。アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

Table with columns: 採用, 柱脚記号, 通用柱サイズ (mm), ベースプレート (D1, D2, C1, C2, dh, t), アンカーボルト (本数・呼び径, Lc, La), コンクリート柱形 (標準) (b1, b2, 主筋, 巻筋, Lx, コンクリート強度), 最低寸法 (mm).

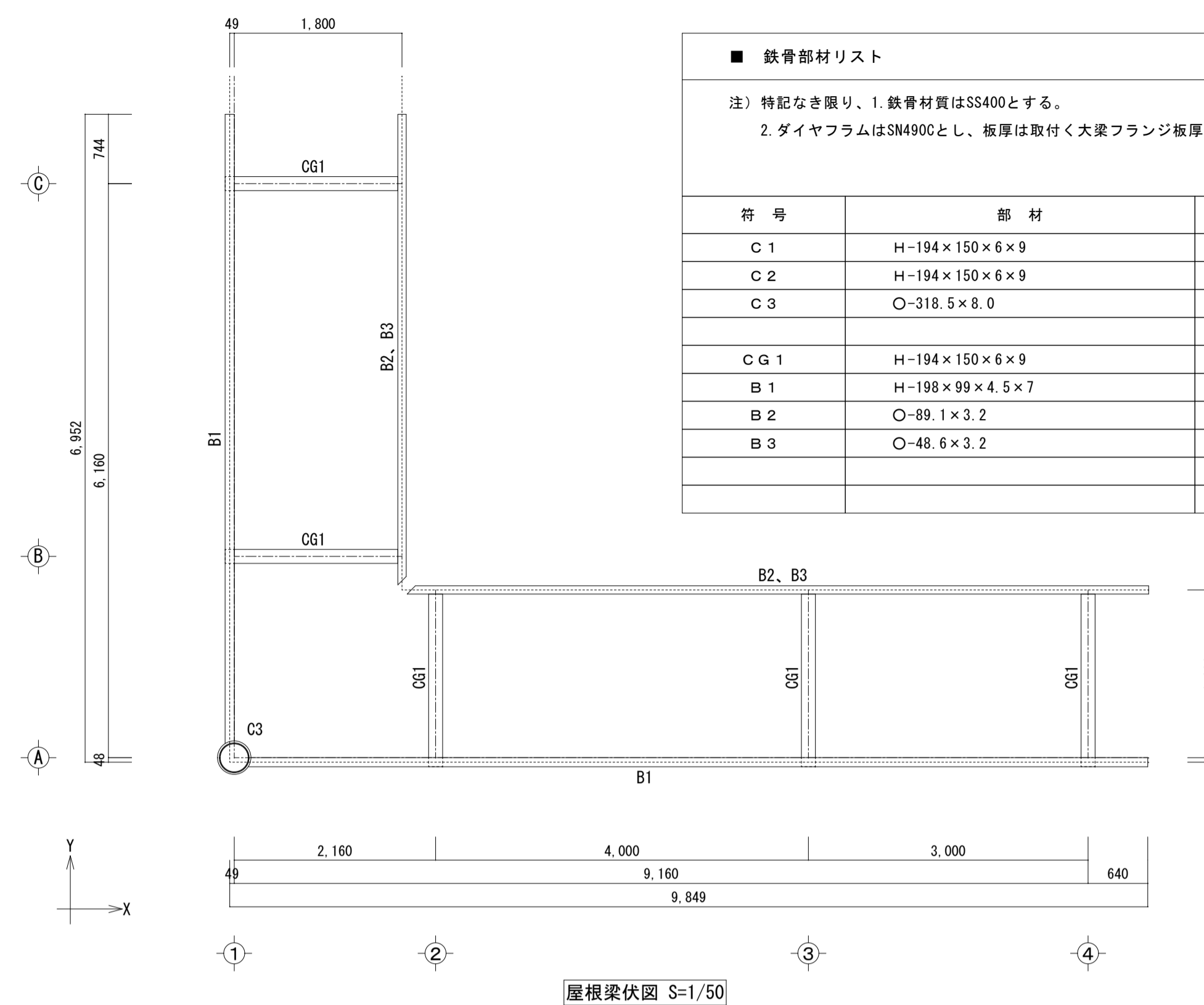
■ 基礎伏図 S=1/50、基礎リスト S=1/30



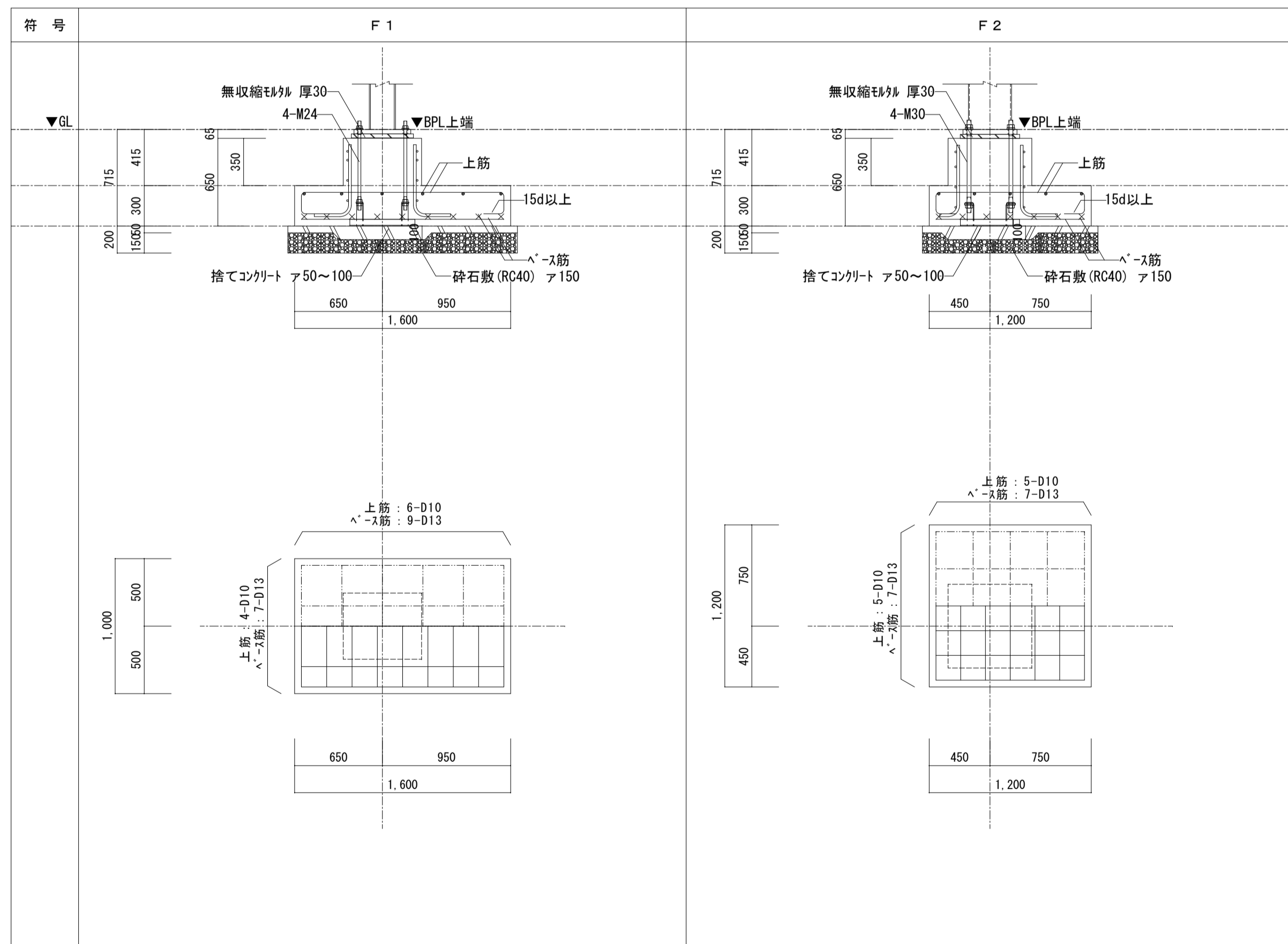
■ 柱脚詳細図 S = 1 / 3 0

符号	C 1	C 2	C 3
柱脚	H-194 × 150 × 6 × 9 SS400 ISベース：HP2015 露出認定工法	H-194 × 150 × 6 × 9 SS400 ISベース：HP2015 露出認定工法	○-318.5 × 8.0 STK400 ISベース：CH311-1 露出認定工法
B. PL	370 × 280 × 32 (SN490B)	280 × 370 × 32 (SN490B)	400 × 400 × 36 (SN490B)
A. BOLT	4-M 2.4	4-M 2.4	4-M 3.0

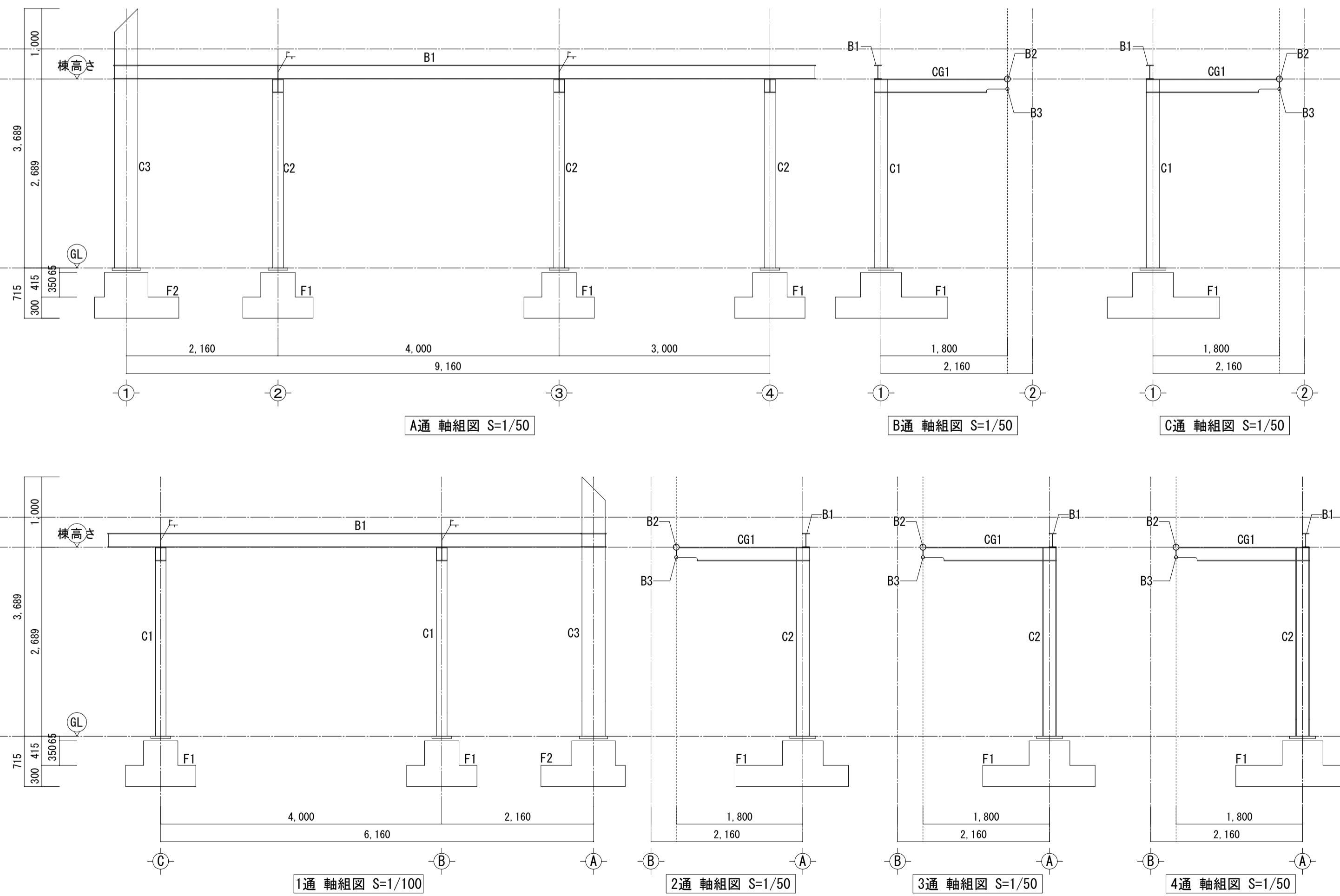
■ 屋根梁伏図 S=1/50



■ 基礎配筋詳細図 S = 1 / 3 0



■ 軸組図 S=1/50



訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
一級建築士登録 第219285号 北村 通
彦根市長曾根南町4-4-3番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学A-D棟間屋外廊下新設工事

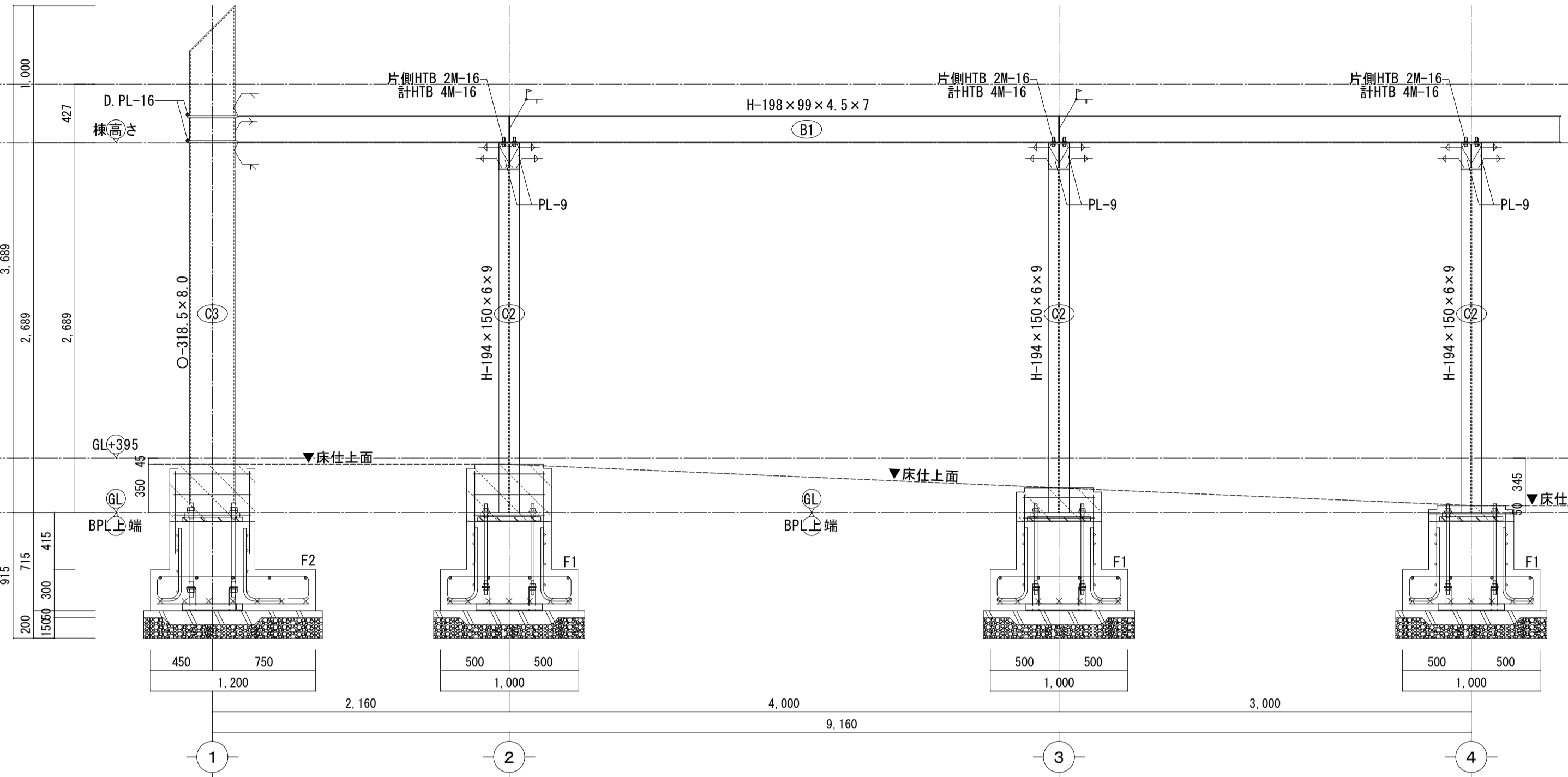
DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY

基礎伏図、基礎リスト、屋根梁伏図
軸組図、鉄骨部材リスト

DATE SCALE 1/30, 1/50 (A1)
1/60, 1/100 (A3)

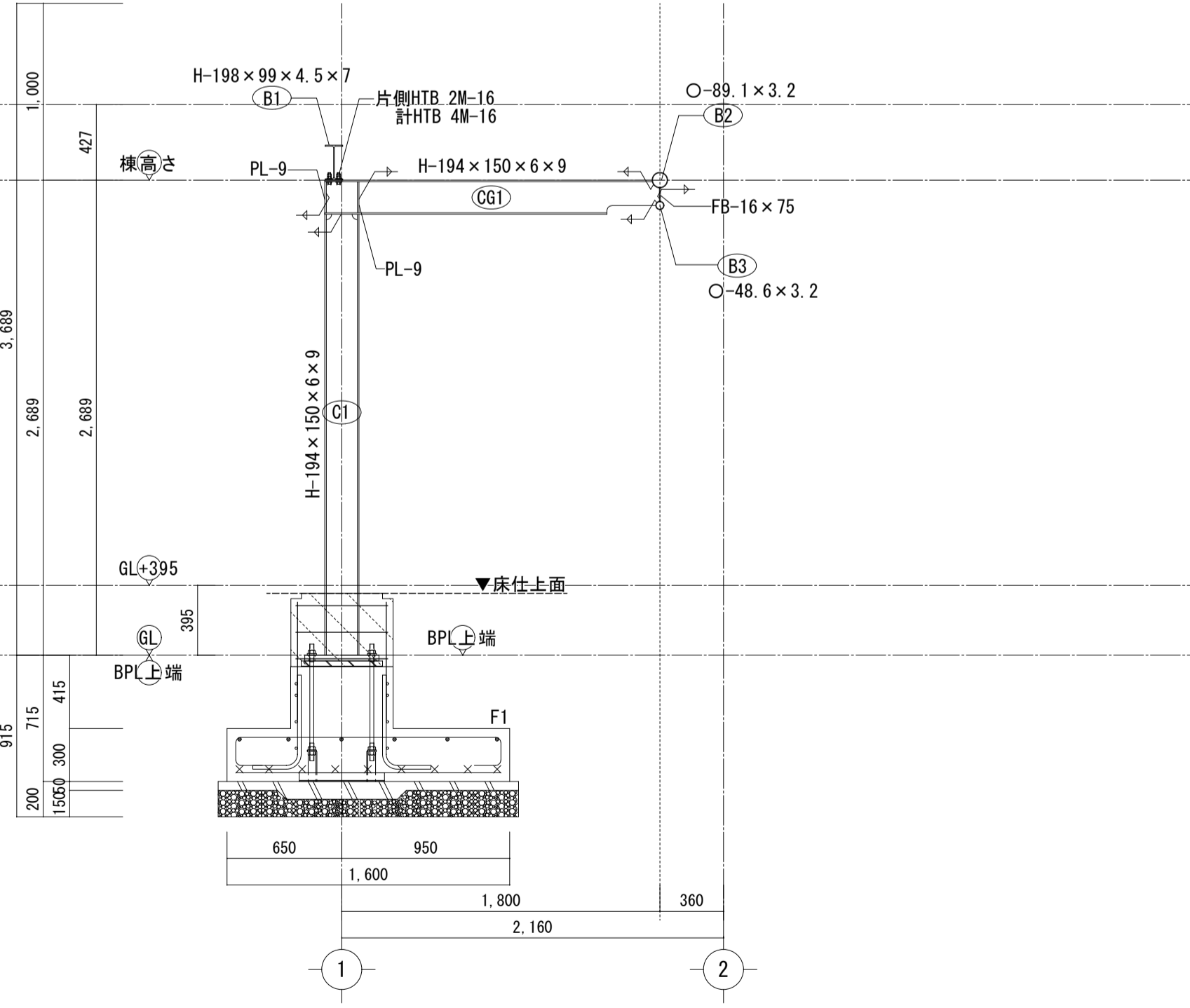
SHEET No.

A-09



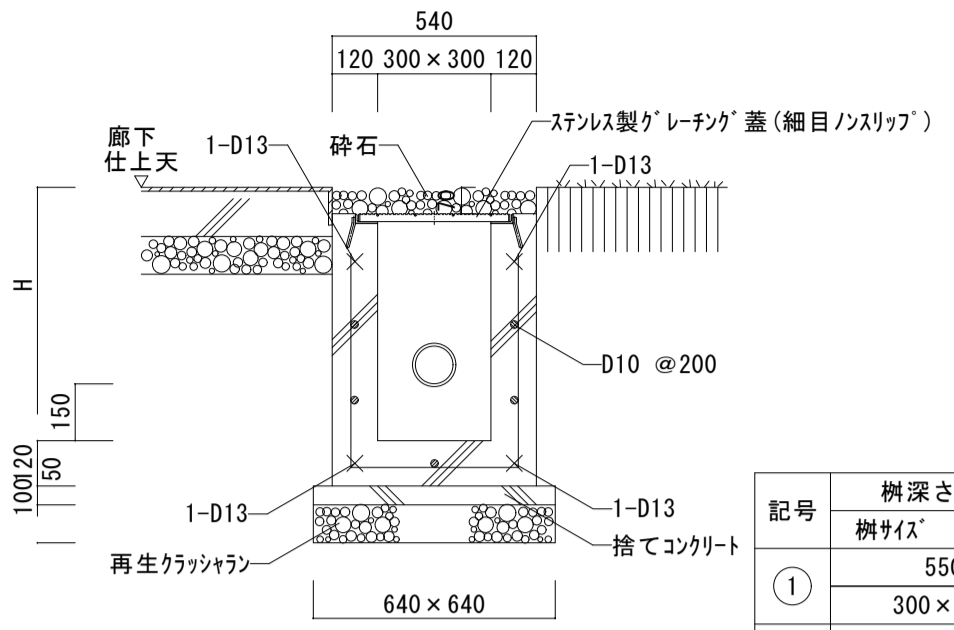
A通 架構詳細図 S=1/30

□凡例
 斜線部 コンクリート増打ち部を示す。
 主筋 4-D13
 HOOP D10@150



B通 架構詳細図 S=1/30

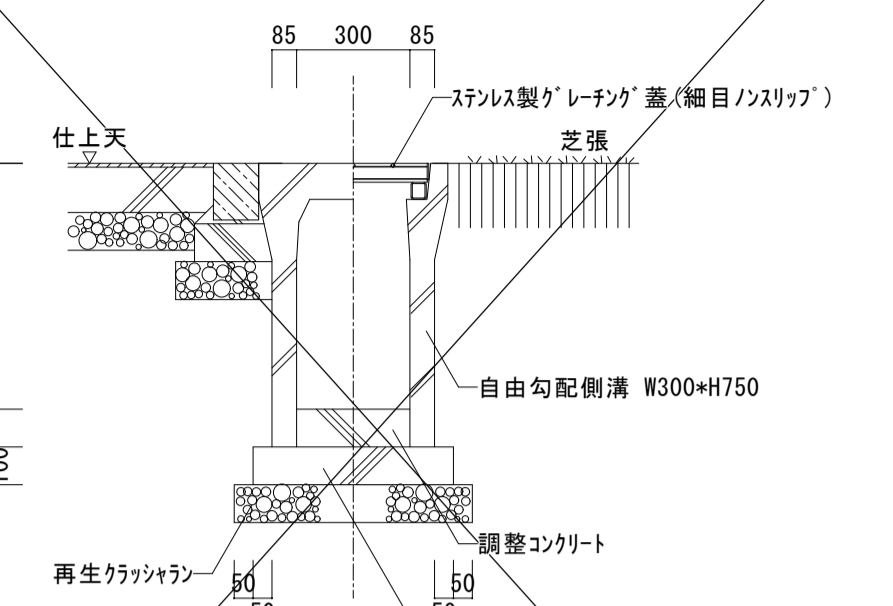
会所前(現場打ち) S=1/20



記号	樹深さ 樹径	H W x L	数量	差	備考
①	550 300 x 300		1	グレチング 蓋	T-2
②	600 300 x 300		1	グレチング 蓋	T-2

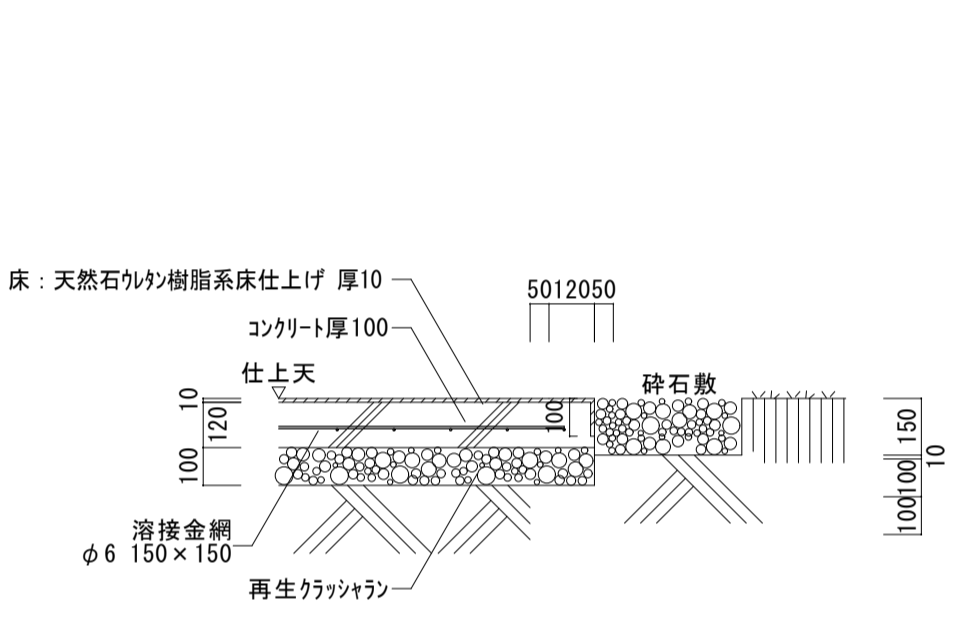
ステンレス製「グレチング」蓋(細目ノスリッパ) 巾300 T-2 (溶融亜鉛メッキ処理)
 生コンクリート (18-15-20) 鉄筋 (SD295A)
 捨てコンクリート 厚50
 再生グラツツラン(RC-40) 厚100

自由勾配側溝(既製品) [VS側溝] S=1/20



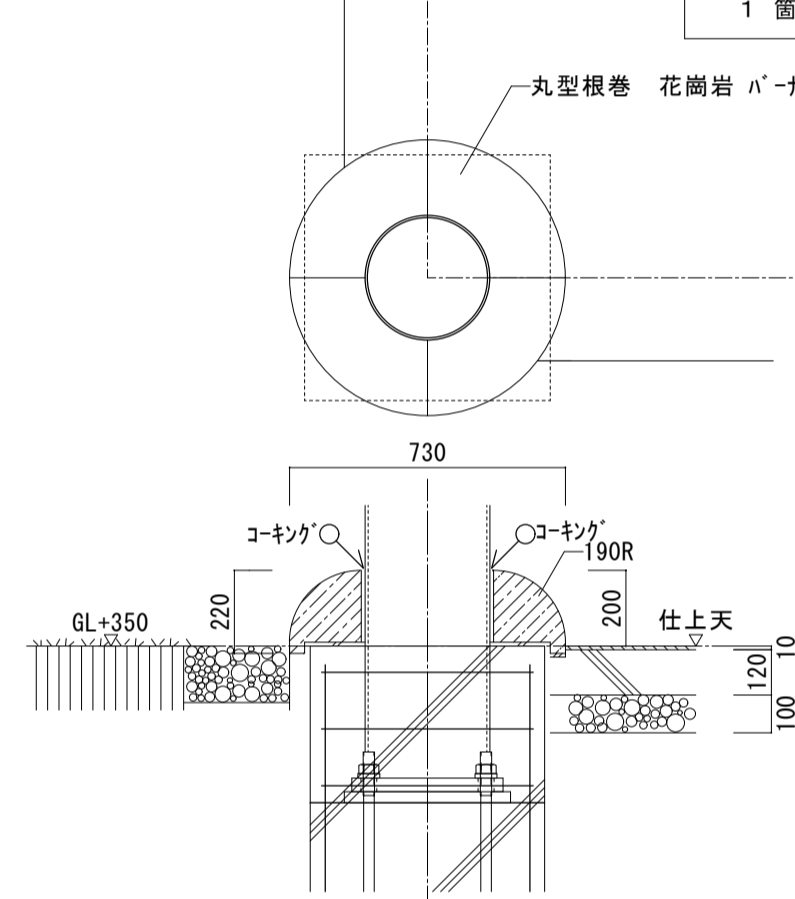
ステンレス製「グレチング」蓋(細目ノスリッパ) 巾300 T-2 (溶融亜鉛メッキ処理)
 捨てコンクリート (18-15-20) 厚100
 再生グラツツラン(RC-40) 厚100

床詳細図 S=1/20



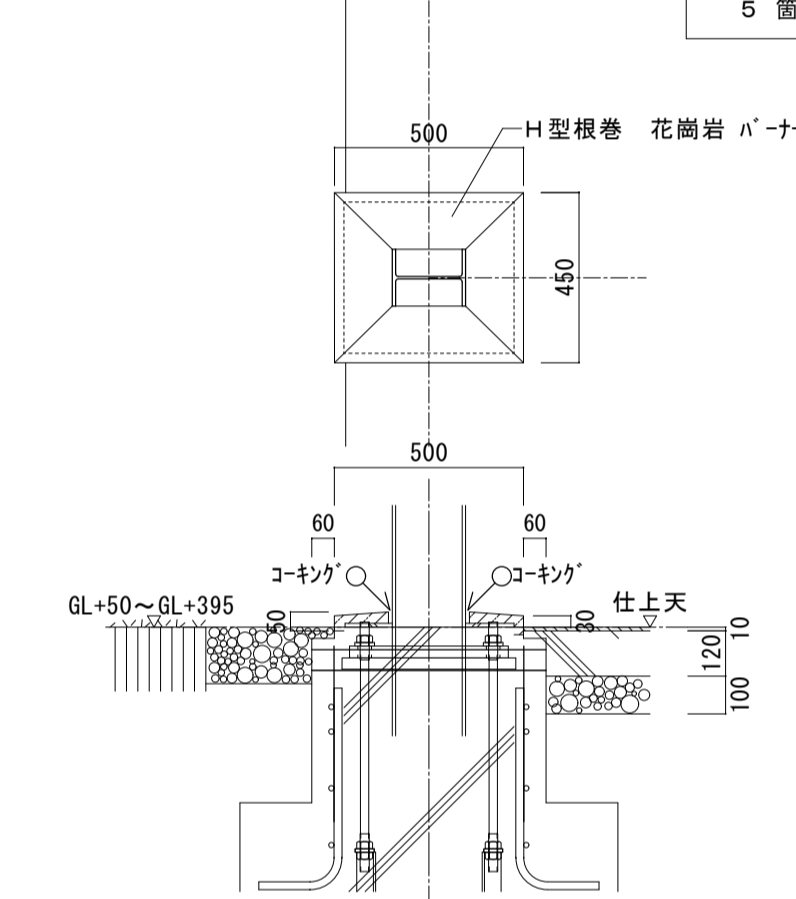
床: 天然石カク樹脂系床仕上げ 厚10
 コンクリート厚100
 仕上天
 砕石敷
 再生グラツツラン(RC-40) 厚100

丸型根巻 S=1/20



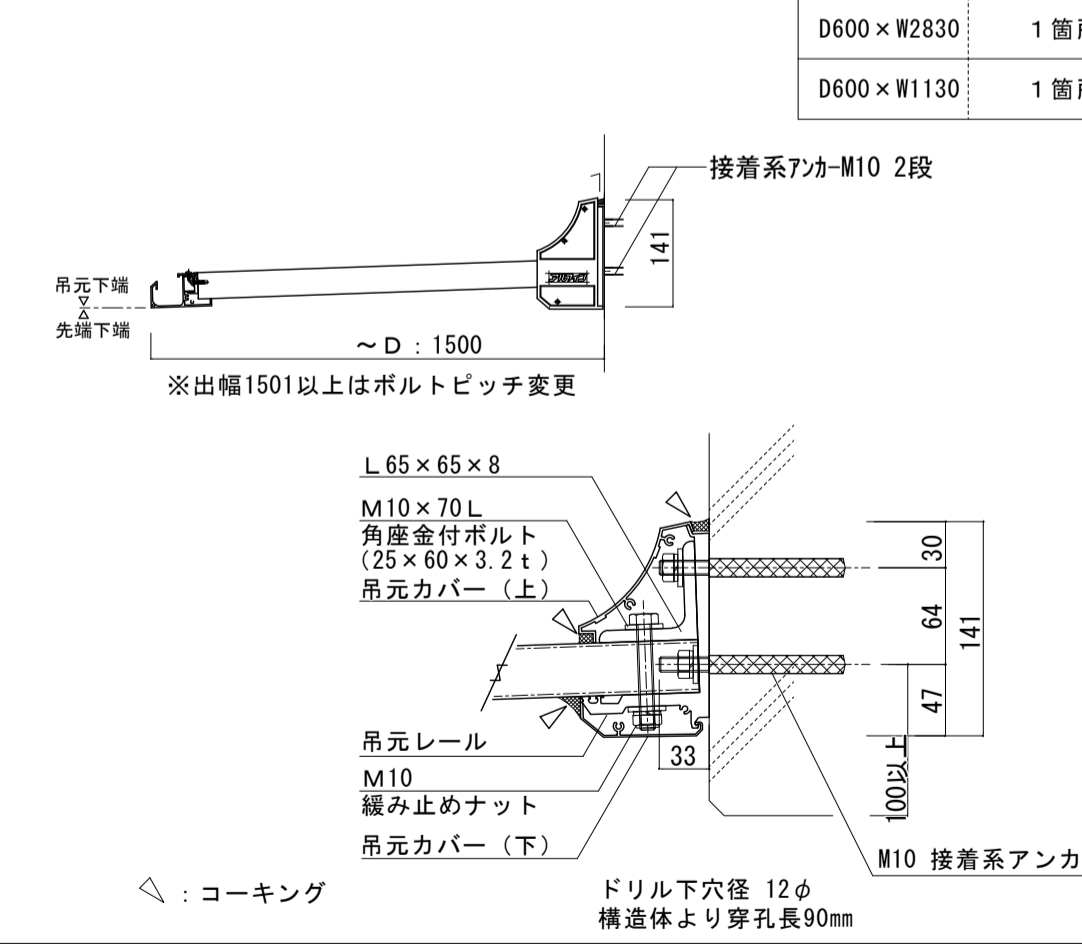
丸型根巻 花崗岩「ナ」ナ仕上
 据付モルタル 厚10

H型根巻 S=1/20



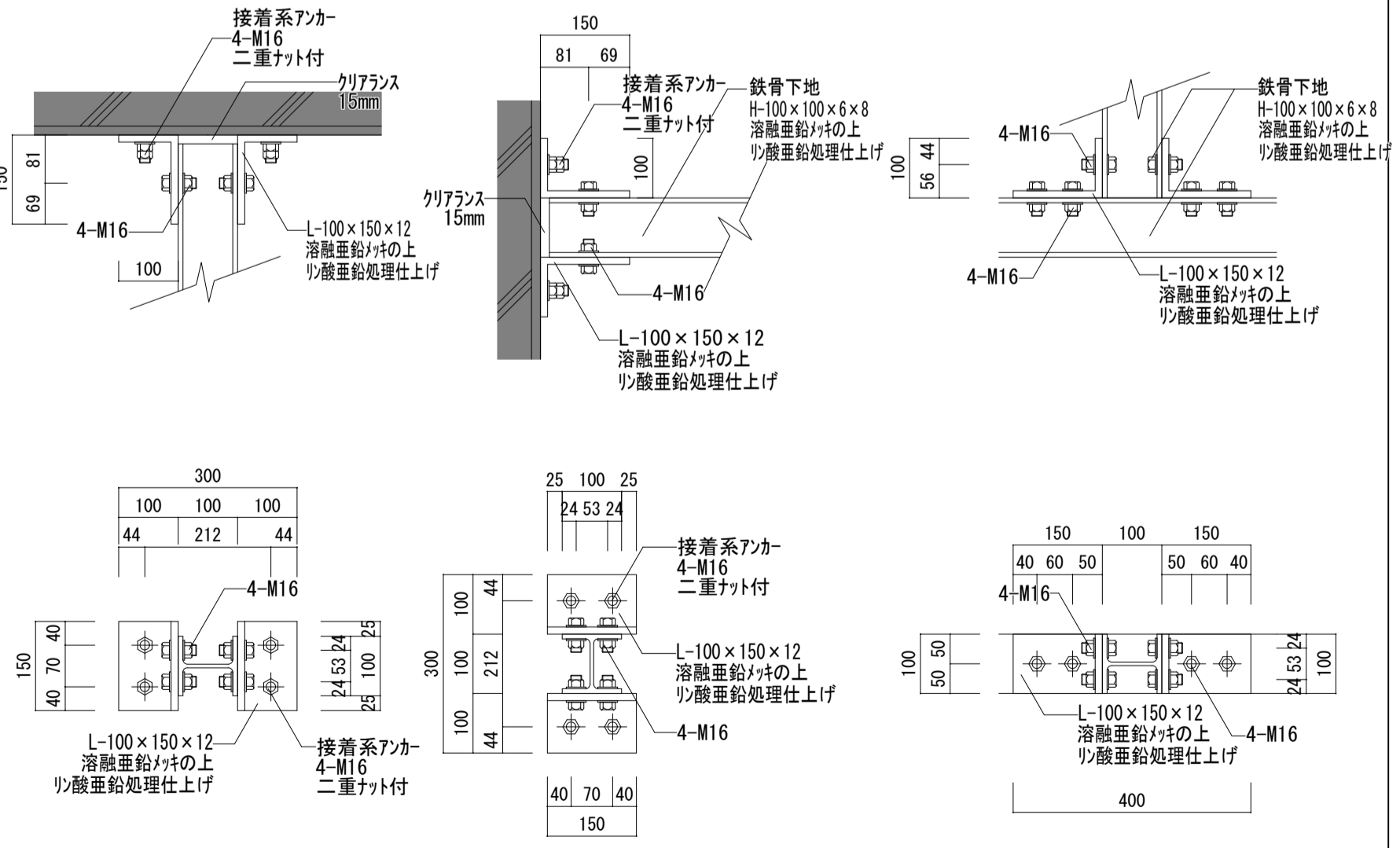
H型根巻 花崗岩「ナ」ナ仕上 厚50 (四方向「ナ」)
 据付モルタル 厚10

底2(既製品) S=1/10

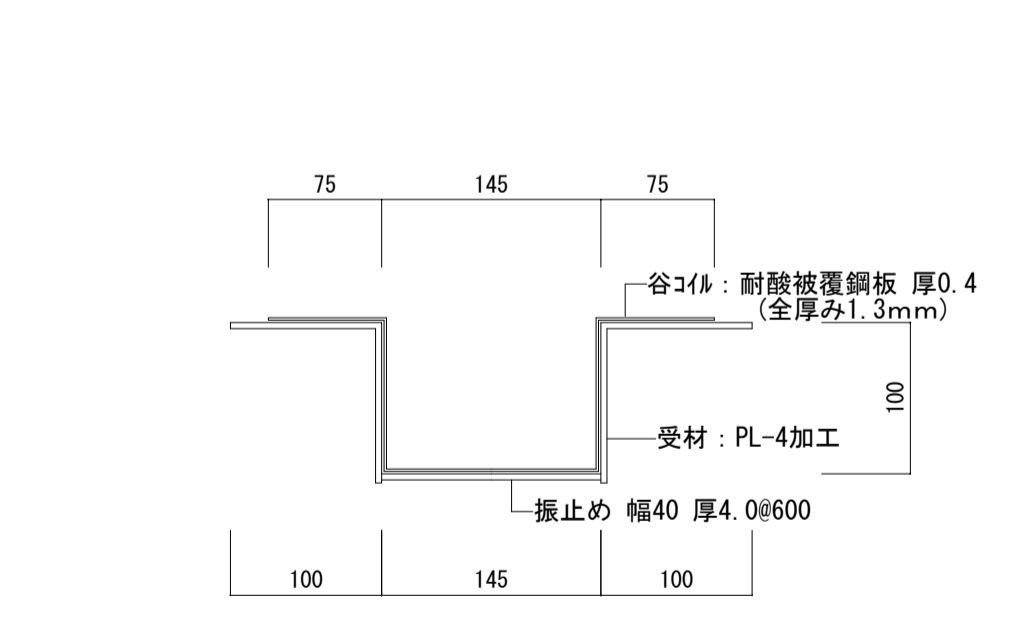


底(7&8既製品)化粧補付
 7&7(7&8)補 AD-INまたは同等品

詳細図A、詳細図B、詳細図C S=1/10



谷コイル 詳細図 S=1/5



谷コイル
 谷コイル 厚1.3加工 + 受材PL-4加工

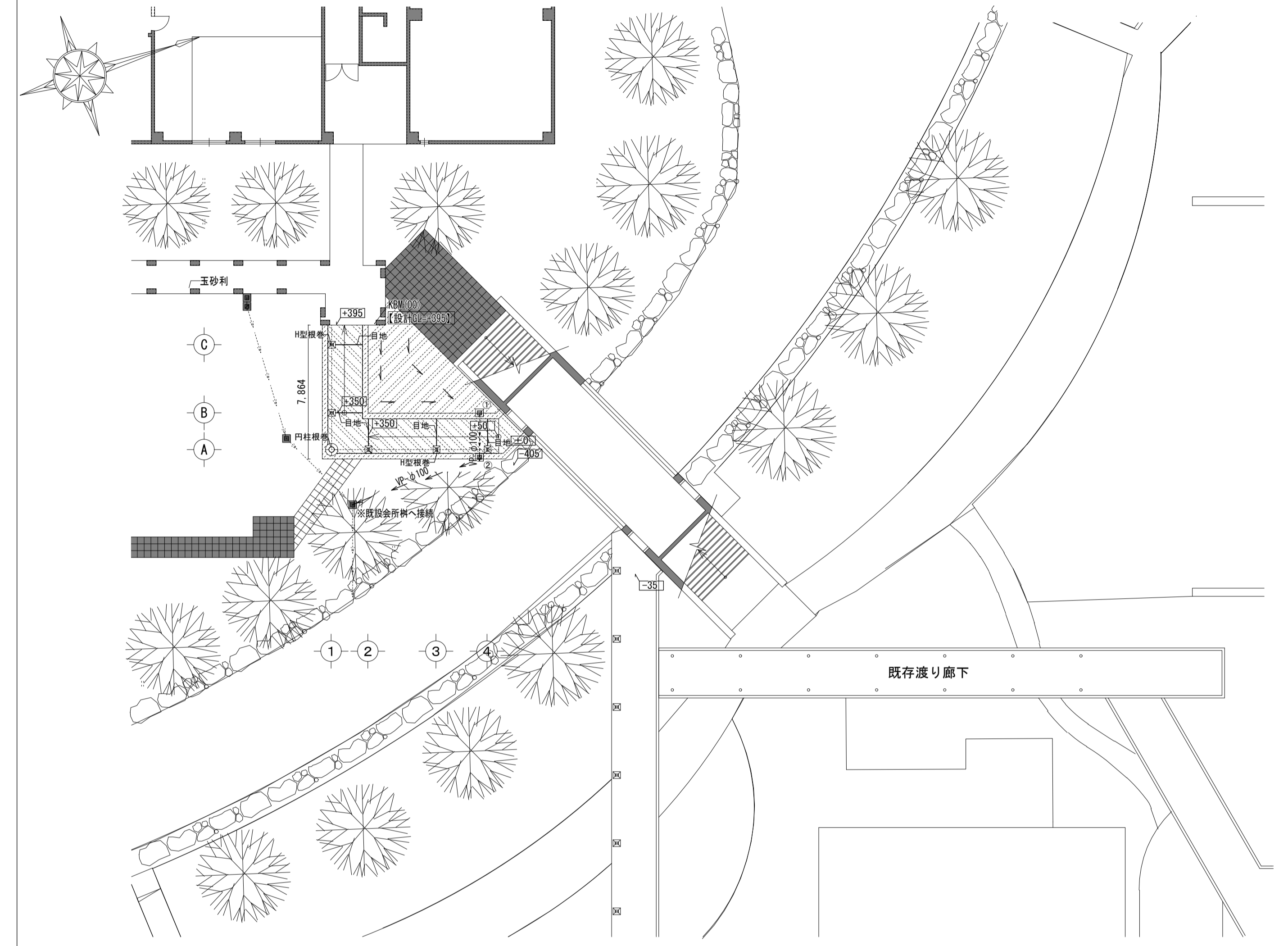
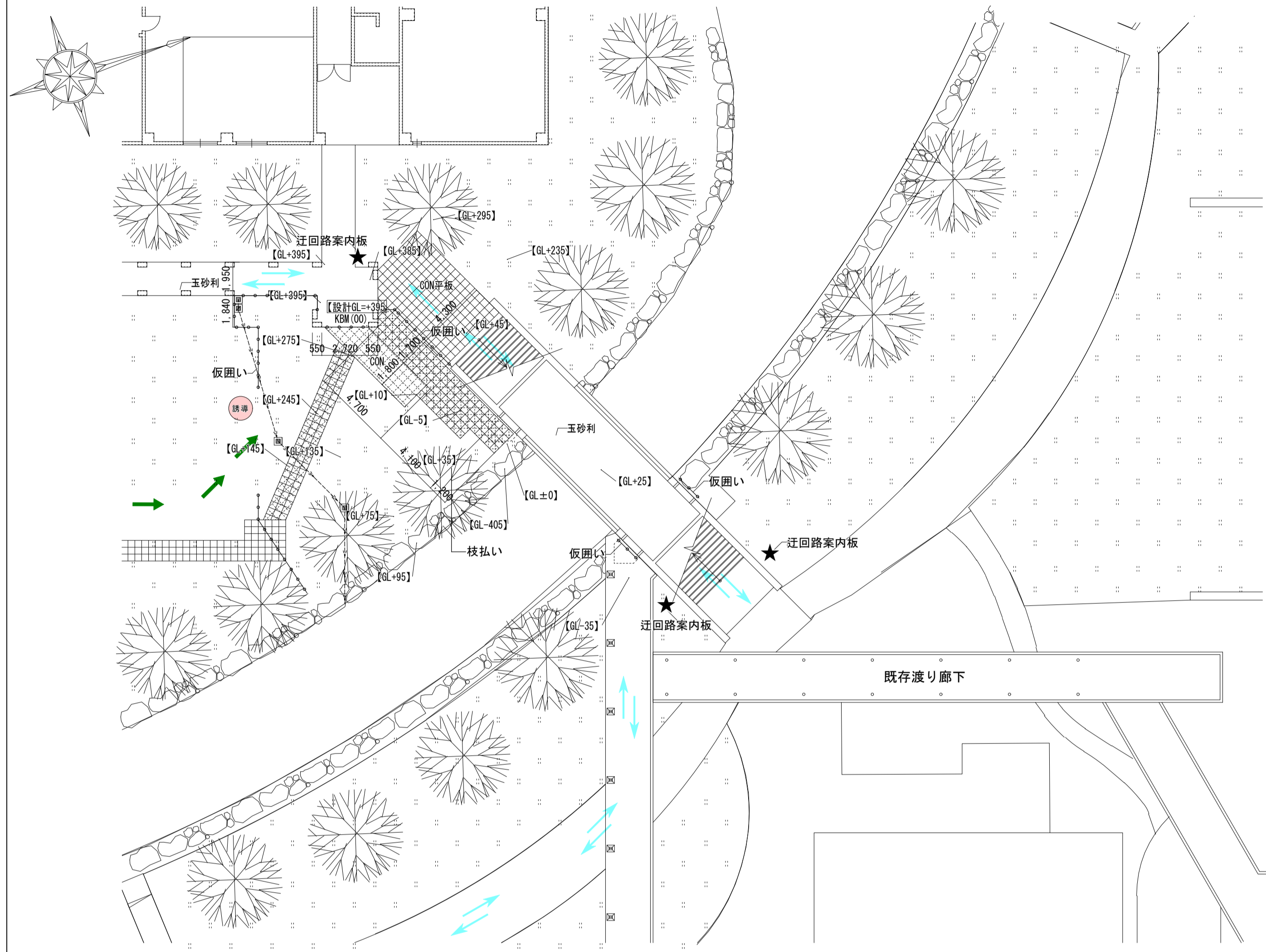
訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号
 一般建築士登録 第219285号 北村 通
 彦根市長根南町4-4-3番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学A-D棟間屋外廊下新設工事

DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY DATE SCALE 1/30, 1/20, 1/10 (A1) 1/60, 1/40, 1/20 (A3)

SHEET NO. A-10



○ 現状・解体撤去 外構図凡例

	芝張りを示す。
	CON平板(400×400)敷設を示す。
	CON舗装を示す。
	玉砂利 砂利目砂利洗い出し 仕上げを示す。
	雨水排水経路を示す。
	仮囲い(フェンスバリアードH=1.8m)を示す。
	学生・施設管理者 動線を示す。
	工事関係者 動線を示す。
	誘導員配置を示す。(5人程度)
	CON平板(400×400)撤去範囲を示す。
	CON舗装解体撤去範囲を示す。
	迂回路案内板を示す。

○ 特記事項

- ※工事期間中は学生、施設管理者の安全確保を最優先に施工すること。
- ※仮囲いはフェンスバリアードで行い、学生等が進入できないようにすること。
- ※工事車両は工事ヤード以外の敷地内は、原則駐車禁止とする。
- ※車両通行時については、学生、施設管理者・近隣住民の安全確保に注意し、必要に応じて交通誘導員を配置すること。
- ※長期休み期間中、門戸の管理について大学と協議を行い対応すること。
- ※CON平板は、再利用する為 破損しないよう注意をはらって撤去を行うこと。破損したCON平板のみ撤去処分を行うこと。

○ 改修外構図凡例

	図中の数字はKBM±0からの現状外構仕上高さを示す。 (KBM=既設外部廊下天端、設計GL=KBM-395)
	既設雨水排水経路を示す。
	排水管を示す。VP-000：硬質塩化ビニール一般管(数字は管径を示す)
	排水勾配を示す。
	目地 ステンレス製目地 FB-9×15を示す。
	H型根巻 花崗岩パーナー仕上 厚50(四方向テーバー)を示す。
	円柱根巻 花崗岩パーナー仕上 を示す。
	砕石敷き 厚150 新設範囲を示す。 A=10.4㎡
	敷均し 範囲を示す。 A=28.2㎡
	天然石ウレタン樹脂系床仕上げ 厚10 新設範囲を示す。 A=34.5㎡

○ 特記事項

	会所樹(既製品)樹サイズ300×300を示す。 数字は会所樹リット番号を示す。(会所樹リット参照)
	既設CON平板 再利用範囲を示す。 (いへ調整+再設置) A=11.0㎡
	既設CON平板(400×400)を示す。
	既設会所樹を示す。

○ 特記事項

- ・外構いへ記載あるも概要を示すもので、詳細は現状調査の上、監督職員と打合せの上承諾を得ること。(水勾配等)
- ・排水管勾配は、原則として1/100以上とすること。
- ・側溝勾配は、原則として1/200以上とすること。
- ・図中数量等記載あるも、現場にて多少の増減が生じた場合は工事金額内で処理のこと。
- ・既設との取り合い等図示なき場合も、必要と思われる事は本工事内で処理のこと。
- ・余ったCON平板は大学内で保管する為、管理者が指定した学内の場所まで移動させること。

訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所
 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 北村 通
 一般建築士登録 第219285号
 彦根市長曾根南町4-4-3 番地 TEL 0749-22-1679

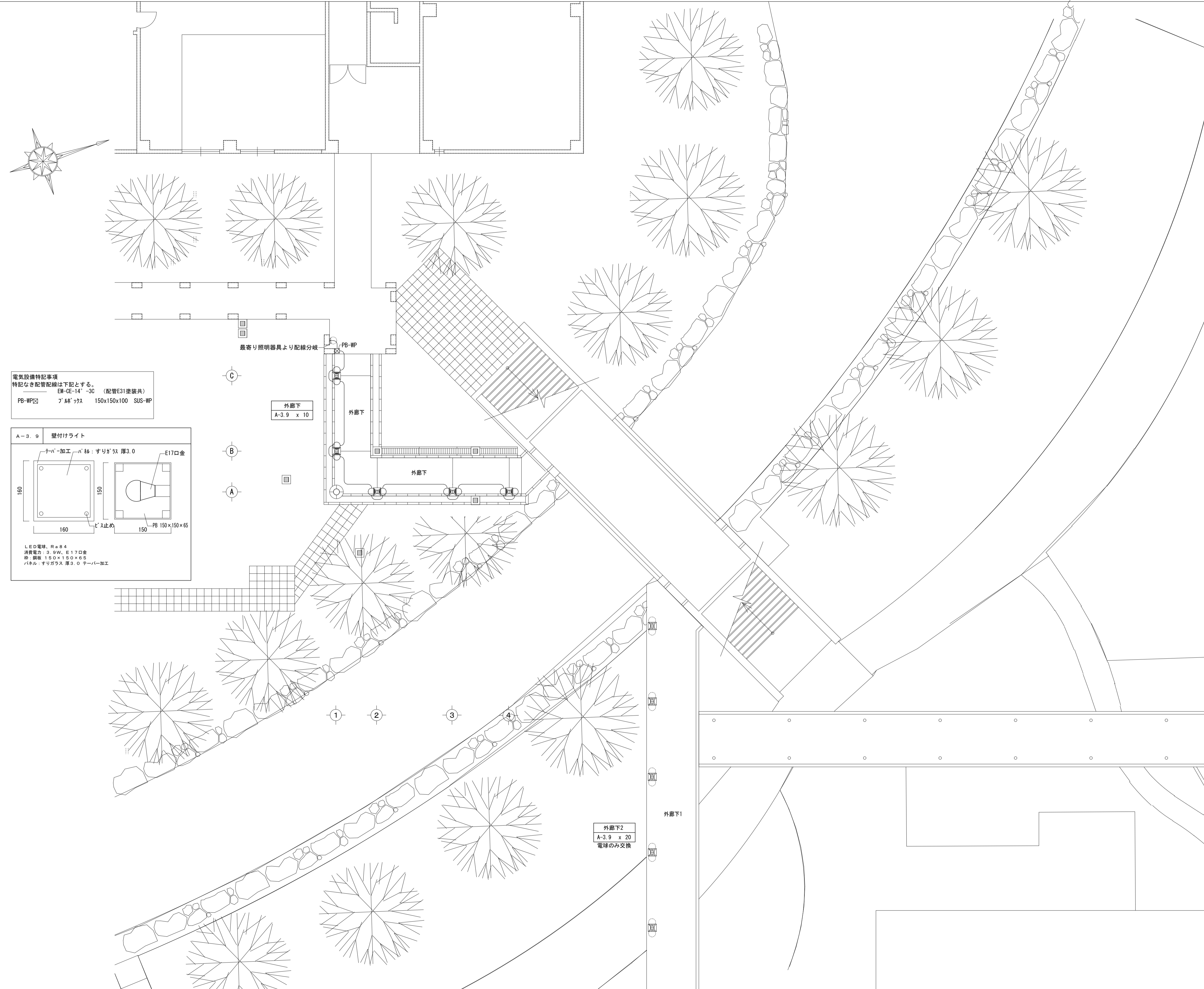
滋賀県立大学A-D棟間屋外廊下新設工事

DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY

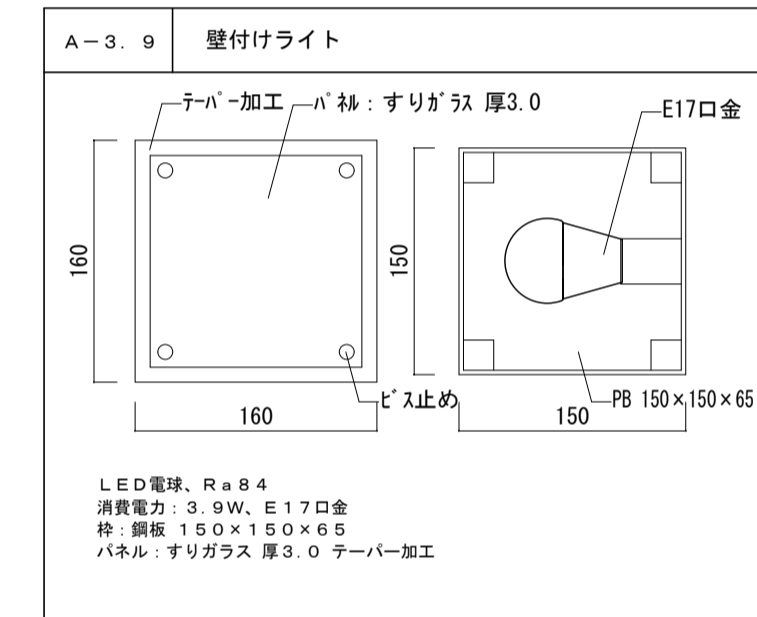
現状・解体撤去 外構図
 改修 外構図

DATE	SCALE 1/200 (A1) 1/400 (A3)

SHEET NO. A-11



電気設備特記事項
特記なき配管配線は下記とする。(配管E31塗装共)
PB-WP 2 アダプタ 150x150x100 SUS-WP



最寄り照明器具より配線分岐

外廊下
A-3.9 x 10

外廊下2
A-3.9 x 20
電球のみ交換

電気設備工事特記仕様書

工事名称	滋賀県立大学A-D棟間屋外廊下新設工事		
工事種別	電気設備工事		
工事期間・期	日	月	年
工事概要説明	屋外廊下新設に伴い、照明機器の増設を行う。 指定した屋外廊下の既設電球をLED電球交換を行う。		
※該当工事には適用欄に○印を附す。			
適用No	工事種目	工種	備考
○ 1	電灯・コンセント設備	新設: 改修:	

1: 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官署管轄労働部局公共建築工事標準仕様書、改修工事標準仕様書および関係工事標準仕様書の最新版（以下、「標準」という。）による。

項目	特記事項
一般事項	一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分断発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。 イ 本工事は、工事請負約款及び前約款を遵守し、本特記仕様書、図面、量及び標準仕様書により発注し施工する。各区分に於いて毎箇の発注のある場合は発注の順序とする。 ロ 必要な関係機関への申請手続き等は、全て請負人の負担とし、速やかに処理する。 ハ 本図面、工事の欠点を示すものとする。詳細位置等については監督員と打合せの上、その指示に従い入念に施工する。 ニ その他関係法規に基づき完全に施工する。 国土交通省大臣官署管轄労働部局公共建築工事標準仕様書（最新版）に準ずる。 ※2 監理指針 ※3 施工管理 F1311

種目	適用項目	特記事項
○ 電灯・コンセント設備	工事範囲及び説明 ○ 施工方法 ○ 使用電線 ○ 照明器具 ○ 配線器具 その他	屋外廊下新設に伴い、照明機器の増設（10箇所）を行う。 指定した屋外廊下の既設電球をLED電球交換（00箇所）を行う。 FEP管、PE管、ケーブル配線 EM-IE 600V EM-CE 600V EM-DET EEF FP-C ※1による又は公共施設品等による。 施工前、施工完了後の測定を実施すること。

使用機材製造者指定

本工事に使用する機材材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築課所定の様式により承認を得て使用のこと。

適用	機材名	製造者
○	電線	JIS規格等適合品製造者
○	ケーブル	JIS規格等適合品製造者
○	電線管	JIS規格等適合品製造者
○	照明器具	パナソニック 三波電気
○	配線器具	パナソニック 神保電器 東芝ライテック